CQX1A1632Y

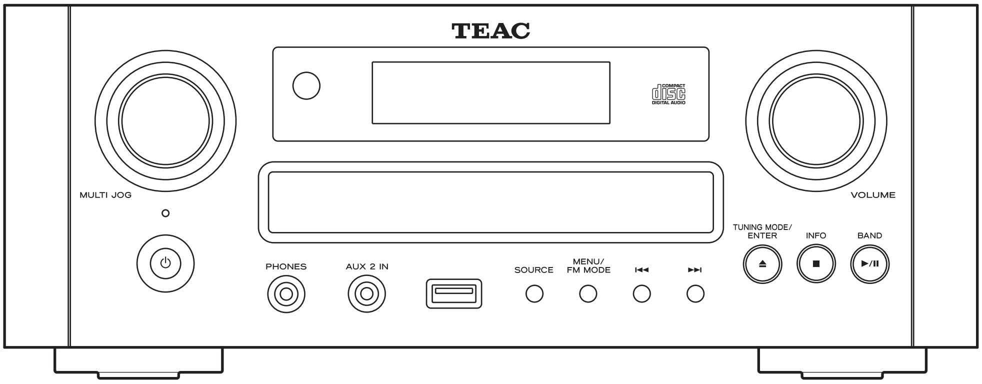
TEAC

取扱説明書

CR-H700

ネットワークCDレシーバー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに
大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



Made for iPod iPhone iPad

AirPlay

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

Wi Fi CERTIFIED

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like).
An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing.com.

Wi-Fi is a mark of the Wi-Fi Alliance.
The Wi-Fi CERTIFIED Logo is a certification mark of the Wi-Fi Alliance.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Windows, Windows Vista, Windows 7, Windows Media and Internet Explorer are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

“Made for iPod,” “Made for iPhone,” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.

Apple, AirPlay, the AirPlay logo, iPad, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, iPod touch and iTunes are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

オープンソースに関する著作権およびライセンスは巻末に記載します。

目　次

お使いになる前に 3
安全にお使いいただくために. 4
リモコンの使い方 7
Apple 製品について 7
ディスク / ファイルについて. 8
各部の名称 (本体) 10
各部の名称 (リモコン) 12
アンテナの接続. 14
スピーカーの接続 15
接　続 16
現在時刻の設定. 18
基本操作. 19
接続した機器の音を聴くには. 21
ディスクを聴くには 22
USB メモリーを聴くには 23
ディスクと USB の操作 24
MP3/WMA ディスクの再生順 25
フォルダ内の曲をサーチするには (MP3/WMA) 26
ディスプレーの表示 26
シャッフル再生. 27
リピート再生 27
プログラム再生. 28
iPod を聴くには. 30
AM/FM ラジオを聴くには 32
AM/FM 放送局のプリセット. 33
ネットワークのセットアップ. 35
インターネットラジオを聴くには 37
インターネットラジオ ポータルサイト 39
メディアプレーヤーの設定 40
メディアプレーヤーで聴くには 44
AirPlay で聴くには. 45
Music Streaming で聴くには 46
ネットワーク設定 46
スリープタイマー 47
目覚ましタイマー 48
ファームウェアアップデート. 50
工場出荷状態に戻すには 53
困ったときは 54
仕　様 57
保証とアフターサービス (よくお読みください) 58
オープンソースに関する著作権およびライセンス 59

お使いになる前に

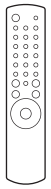
本機の特徴

- USBポート(iPod/iPhone/USBストレージデバイスを接続することができます)
- インターネットラジオ(37ページ)
- メディアプレーヤー (44ページ)
- AirPlay(45ページ)
- ミュージックストリーミング機能(46ページ)
  ネットワークに接続されているサーバーの曲を、DLNAに対応したアプリケーションがインストールされたパソコンや、モバイル機器から再生することができます。
  メディアプレーヤーや、AirPlay などで本機を複数の機器で複数の部屋から操作することができます。

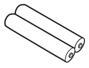
付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

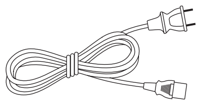
リモコン(RC-1286)×1



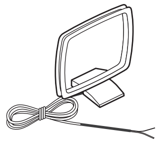
リモコン用乾電池(単4)×2



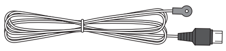
電源コード×1



AMループアンテナ×1



FMアンテナ×1



取扱説明書 (本書)×1

保証書 ×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

- 再生中はディスクが高速回転しているので本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** 機器のまわりにすきまがないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。
指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前やヘッドホンを使用するときは、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液もれなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠注意　乾電池に関する注意

禁止	**乾電池は絶対に充電しない** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠注意　電池に関する注意

指示	**電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる** 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

リモコンの使い方

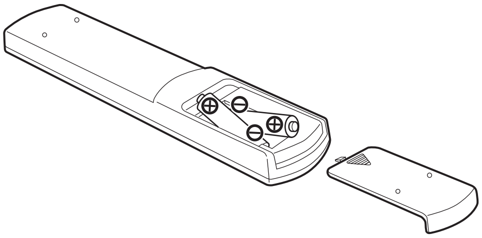
使用上の注意

⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。6ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は、カーテンを閉めるなど、リモコン受光部に強い光が当たらないよう工夫してください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

Apple 製品について

本機で使用できる Apple 製品

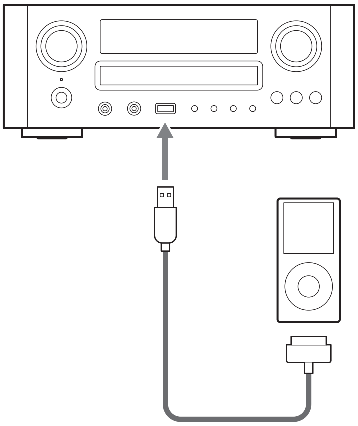
以下のApple製品を本機に接続して使うことができます。

iPod nano（第2世代、第3世代、第4世代、第5世代、第6世代）
iPod touch（第1世代、第2世代、第3世代、第4世代）
iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G
iPad 2、iPad

下記の弊社ホームページの iPod 動作確認表もご参照ください。

http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

- 本機では、iPod/iPhone/iPadのビデオは出力できません。
- 本機のUSBポートにiPod/iPhoneを接続するには、iPod/iPhoneに付属のUSBケーブルをお使いください。



iPod/iPhone/iPad 用ソフトウェア

お使いの iPod/iPhone/iPad が本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新の iPod/iPhone/iPad ソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
下記サイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

http://www.apple.com/jp/downloads/

ディスク / ファイルについて

本機で再生できるディスク

「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのあるCD
(12cm/8cm)

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。
または、MP3、WMAファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- ビデオCD、CD-ROMなどはディスクを読み込むことはできますが、再生しても音が出ません。
- DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-ROMなどは本機で読み込むことはできません。また、再生もできません。
- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

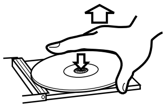
CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマット (CD-DA) で記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

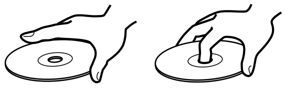
- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



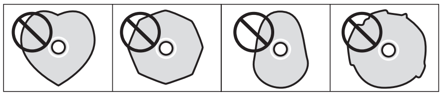
取り出し方



持ち方

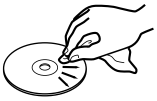
使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついて汚れている場合は、柔らかい布で内側中心から外側に向けて軽く拭いてください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
● CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて紫外線や熱の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
● ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

本機で再生できるファイル

本機は、CD や USB フラッシュメモリーやハードディスクなどの外部機器に記録された音声ファイルを再生することが出来ます。

● USBメモリーはFATまたはFAT32でフォーマットしてください。NTFSには対応していません。

各再生ソースで再生できるファイルのフォーマットは下記のようになります。

Format	CD	USB	Media Player	
			WiFi	Ethernet cable
LPCM	○	X	X	X
WAV	X	○	○	○
FLAC	X	○	○	○
ALAC	X	X	○	○
MP3	○	○	○	○
OGG	X	X	○	○
WMA	○	○	○	○
AAC	X	○	○	○

MP3
拡張子　: .mp3
対応規格　: MPEG 1/2 レイヤー III
サンプリング周波数　: 8～48 kHz
ビットレート　: 8～320 kbps

LPCM(CD-DA)
対応規格　: LPCM
サンプリング周波数　: 44.1 kHz

WAV
拡張子　: .wav
対応規格　: LPCM
サンプリング周波数　: 8～48 kHz

ALAC
拡張子　: .m4a
対応規格　: Apple Lossless
サンプリング周波数　: 44.1 kHz

FLAC
拡張子　: .flac
対応規格　: FLAC
サンプリング周波数　: 8～48 kHz
USBは48 kHzのみ

Ogg Vorbis
拡張子　: .ogg
対応規格　: Ogg
サンプリング周波数　: 8～48 kHz
ビットレート　: 16～128 kbps

WMA
拡張子　: .asf/.wma
対応規格　: WMA2/7/8/9/10、WMA Pro*、WMA Lossless*
サンプリング周波数　: 8～48 kHz
ビットレート　: 5～320 kbps

*：WMA Pro および WMA Lossless は、再生側のパソコンが Windows Media Player 12 以降の場合のみ対応。（トランスコーディング後の再生となります。）

AAC
拡張子　: .m4a/.aac/.3gp/.3g2
対応規格　: MPEG-4 AAC/MPEG-4 HE AAC (AAC Plus v1/2)
サンプリング周波数　: 32～96 kHz
ビットレート　: 16～320 kbps

ファイル名の表示について

本機のディスプレーは半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字) しか表示できません。ファイル名にかな漢字などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

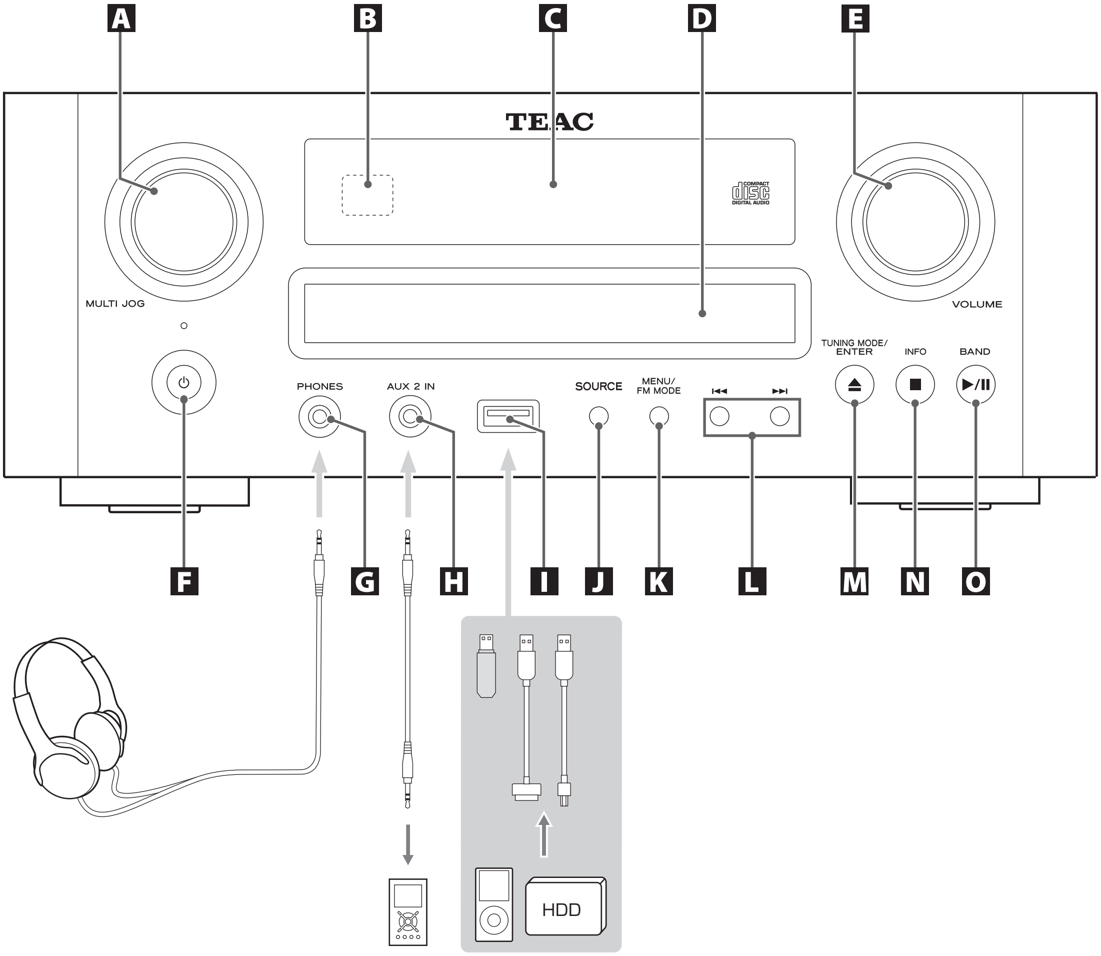
パソコンなどを使ってファイルを作成する際のご注意

● ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
● ファイルを作成する際に、使用するソフトウェアのマニュアルをよくお読みください。

本機で正常に再生できない場合

● 拡張子のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていてもデータ形式が正しくないファイルは再生できません。
● 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
● 記録ファイル数が2000を超えたUSBメモリーは、正常に再生できないことがあります。

各部の名称（本体）


A
B
C
D
E
TEAC
MULTI JOG
VOLUME
PHONES
AUX 2 IN
SOURCE
MENU/
FM MODE
TUNING MODE/
ENTER
INFO
BAND
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
HDD

A 選局/スクロールつまみ [MULTI JOG]

ラジオ受信中の選局や、プリセットした放送局を呼び出す場合に使用します。
また、現在時刻の設定や、目覚ましタイマーの設定に使用します。
USB/iPodモードでiPodを接続したときは、iPodのメニューのスクロールに使います。

CDモード、USB/iPodモードで、再生中または一時停止中にMULT JOGを回すと、前または後ろの曲にスキップします。

- USBモードでは、選択したフォルダー内の全ファイル（曲）のみスキップを行います。

B リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をここに向けて操作してください。

C ディスプレー

D ディスクトレー

E 音量つまみ [VOLUME]

音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

- 調節した後に電源をスタンバイ（オフ）にしても、音量レベルは記憶されます。

F STANDBY/ONボタン [⏻]

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。
スタンバイ（オフ）のときは、STANDBY/ONボタンの上のインジケーターがオレンジ色に点灯します。
電源がオンのときは、インジケーターは青く点灯します。

G ヘッドホン端子 [PHONES]

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を最小にしてからヘッドホンプラグを接続し、徐々に音量を上げてください。ヘッドホン端子を使用しているときは、スピーカーからは音が出ません。

⚠ 注意

ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン/オフ、またはヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。ヘッドホンから大きな音が発生することがあります。

H 音声入力端子 [AUX 2 IN]

市販のステレオミニプラグケーブルを使って、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)と接続して、本機で音声を再生します。

I USBポート

iPod/iPhoneやUSBストレージデバイスを接続します。

J ソース切替ボタン [SOURCE]

このボタンを押すたびに再生ソースが切り換わります。

K メニューボタン [MENU]

USB/iPodモードでiPodを接続したとき、iPodのMENUボタンと同じように、前のメニューに戻ります。
インターネットラジオやメディアプレーヤーモードのときはセットアップメニューを表示します。

FMモードボタン [FM MODE]

FMラジオ受信中に、ステレオとモノラルを切り替えます。

L スキップボタン [⏮ / ⏭]

CDモード、USB/iPodモードで、再生中または一時停止中に、前または後ろの曲にスキップします。
トーン調整の際、左右の音量バランス[BALANCE]の調節に使用します。
各種設定のとき、前のメニューに戻ります。(⏮ ボタンのみ)

M チューニングモードボタン [TUNING MODE]

AM/FMラジオ受信中に、チューニングモードを選択します。

エンターボタン [ENTER]

USB/iPodモードでiPodを接続したとき、iPodのクリックホイール中央のボタンと同じように選択したiPodメニューを確定します。
各種設定のときは、選択したメニューを確定します。
インターネットラジオやメディアプレーヤーモードのときは放送局や曲の選択に使います

開閉ボタン [⏏]

CDモードで、ディスクトレーを開閉します。

N 情報表示ボタン [INFO]

インターネットラジオやメディアプレーヤーでディスプレーに表示される情報を切り換えます。

停止ボタン [■]

CDモード、USB/iPodモードで、再生を停止します。

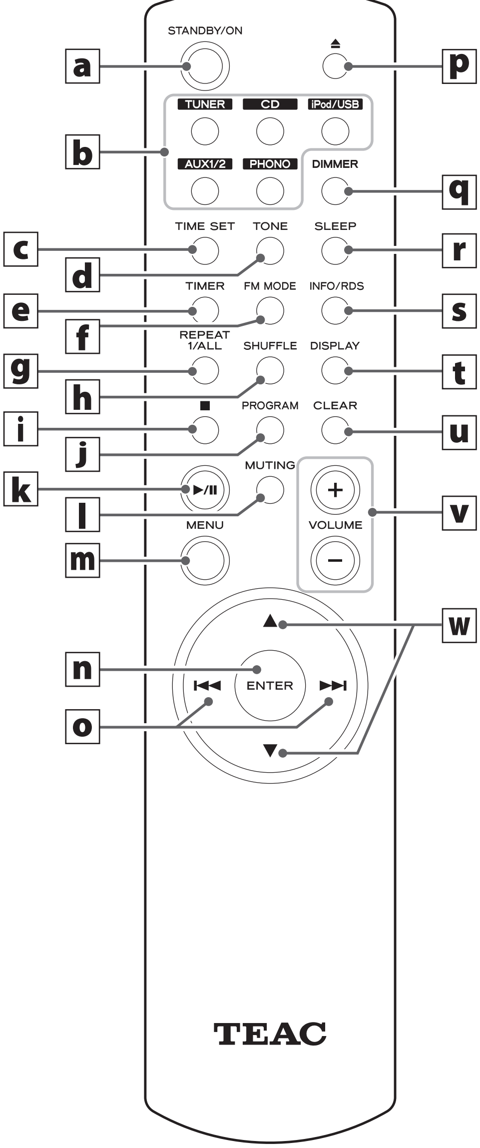
O バンドボタン [BAND]

チューナーモードのとき、AM/FM/インターネットラジオ/メディアプレーヤーを切り換えます。

再生/一時停止ボタン [▶/❚❚]

CDモード、USB/iPodモードで、再生/一時停止に使います。

各部の名称（リモコン）



a STANDBY/ONボタン

電源のスタンバイ/オンを切り換えます。
本体のSTANDBY/ONボタンの上にあるインジケーターの点灯色で状態がわかります。

インジケーター	状態
赤色	スタンバイ（待機）
青色	電源オン

b ソース切替ボタン

再生ソースを切り換えます。

[TUNER] . . . . . . チューナーモード

- 繰り返し押すと、AM/FM/インターネットラジオ/メディアプレーヤーが切り替わります。（19ページ）

[CD] . . . . CDモード

[iPod/USB] . . . . iPod/USBモード

[AUX 1/2] . . . . 外部入力(AUX)モード

- 繰り返し押すと、AUX1とAUX2が切り替わります。

[PHONO] . . . . . . フォノモード

c 時刻設定ボタン [TIME SET]

現在時刻の設定や、目覚ましタイマーの設定に使います。

d トーンボタン [TONE]

低音や高音、左右の音量バランスを調節します。（20ページ）

e タイマーボタン [TIMER]

目覚ましタイマーのオン/オフを切り換えます。

f FMモードボタン [FM MODE]

FMラジオ受信中に、ステレオとモノラルを切り替えます。

g リピートボタン [REPEAT 1/ALL]

CDモード、USB/iPodモード時のリピート再生に使います。（27ページ）

h シャッフルボタン [SHUFFLE]

CDモード、USB/iPodモード時のシャッフル再生に使います。（31ページ）

i 停止ボタン [■]

CDモード、USB/iPodモードで、再生を停止します。

j プログラムボタン [PROGRAM]

CDモード時のプログラム再生に使います。(28ページ)
ラジオ放送局のプリセットに使います。(33ページ)

k 再生/一時停止ボタン [▶/❚❚]

CDモード、USB/iPodモードで、再生/一時停止します。

l 消音ボタン [MUTING]

一時的に音を消します。(20ページ)

m メニューボタン [MENU]

USB/iPodモードでiPodを接続した時、iPodのMENUボタンと同じように、前のメニューに戻るために使います。
インターネットラジオやメディアプレーヤーモードのときはセットアップメニューを表示します。

n エンターボタン [ENTER]

USB/iPodモードでiPodを接続した時、iPodのクリックホイール中央のボタンと同じように、iPodメニューの選択の確認に使います。
また各種設定のとき、メニューの選択の確認に使います。
インターネットラジオやメディアプレーヤーモードのときは放送局や曲の選択に使います

o スキップボタン [|◀◀ / ▶▶|]

ラジオ受信中に、プリセットした放送局を選択します。
CDモード、USB/iPodモードで再生中または一時停止中に、前または次の曲にスキップします。
トーン調整の際、左右の音量バランス[BALANCE]の調節に使います。

p 開閉ボタン [⏏]

ディスクトレーを開閉します。

q ディマーボタン [DIMMER]

ディスプレーの明るさを調節します。(20ページ)

r スリープボタン [SLEEP]

スリープタイマーを設定するときに使います。(48ページ)

s 情報表示ボタン [INFO/RDS]

インターネットラジオやメディアプレーヤー再生時に、ディスプレーに表示される情報を切り換えます。

t ディスプレーボタン [DISPLAY]

CDモード、USB/iPodモード時に、ディスプレーに表示される情報を切り換えます。

u 消去ボタン [CLEAR]

CDモード、またはUSB/iPodモードのプログラムモードで、プログラムした曲を消去します。

v 音量ボタン [VOLUME]

音量を調節します。+を押すと大きくなり、−を押すと小さくなります。

w スクロールボタン [▲/▼]

下記各モードで使用します。

AM/FMモード	:放送局を選ぶ
USB/iPodモード	:接続したUSB機器のファイルやフォルダを選ぶ(iPod接続時は、iPodのメニューをスクロールする)
各種設定	:メニューをスクロールする

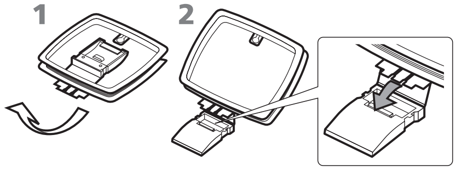
本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

アンテナの接続

AM アンテナ

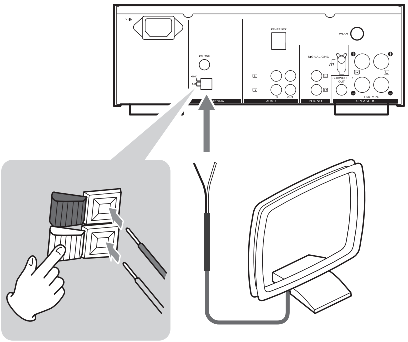
アンテナの組み立て方

付属の AM ループアンテナを下図のように組み立てます。



AM アンテナの接続および設置方法

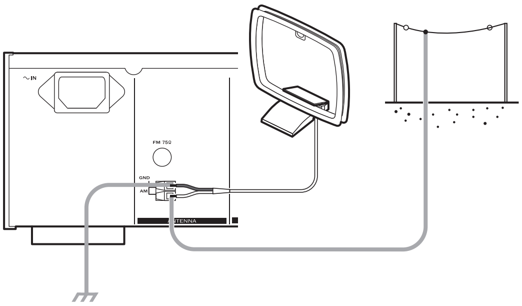
AM アンテナ端子に接続します。（下図）
アンテナコードは黒い方を GND に、白い方をもう片方の端子に接続してください。



AM 放送の受信中に受信状態が一番良くなるように設置してください。
また、アンテナコードが電源コードやスピーカーケーブルと近づくと雑音が入ることがあります。なるべく離した設置をお勧めします。

屋外アンテナについて

AM 電波の弱い地域では、6 〜 15m のビニール線を窓際もしくは屋外に水平に張り、AM アンテナ端子の GND でない側に接続してください。

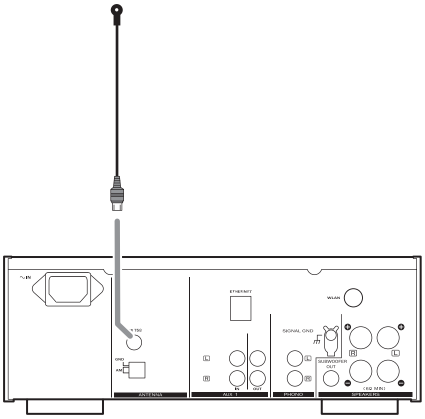


- 屋外アンテナを使用するときは、必ずGND端子をアースにつないでください。
- 屋外アンテナと接続する場合でも、付属のAMループアンテナは接続したままにしてください。

FM アンテナ

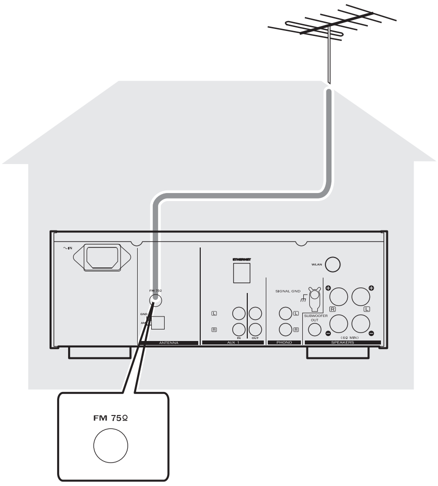
FM アンテナの接続および設置方法

付属の FM 室内アンテナを FM 75Ω ジャックに差し込み、アンテナを伸ばします。受信状態が最もよくなる位置の窓枠や壁などにアンテナを固定してください。



屋外アンテナについて

FM 電波の弱い地域では、3 〜 5 素子の屋外アンテナを使用し、75Ω 同軸アンテナケーブルで接続してください。

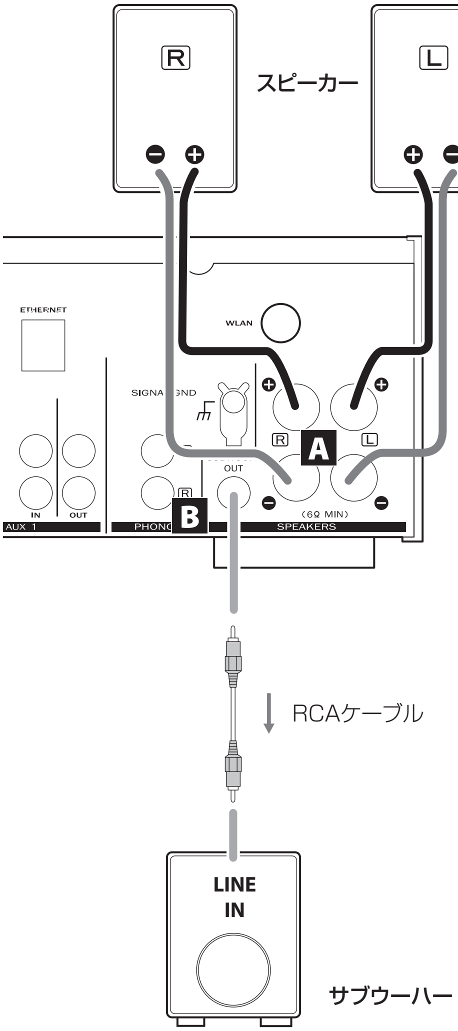


- 屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナを外してから接続してください。

スピーカーの接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- 各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。ノイズ発生の原因となる場合があります。



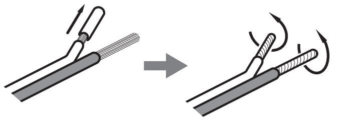
A スピーカー端子 [SPEAKERS]

スピーカーケーブルを使って、本機とスピーカーを接続してください。
本機の赤い端子(R：右スピーカー)・白い端子(L：左スピーカー)が⊕、黒い端子が⊖になります。スピーカーケーブルのマークされている側を本機の⊕端子に、もう片方のケーブルを⊖端子に接続してください。

- スピーカーは公称インピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。

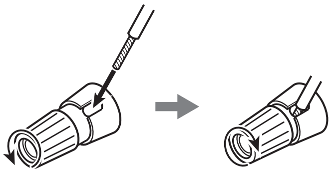
接続の準備

1 スピーカーケーブルの被覆を約1cmむく。
2 芯線をよる。



接続のしかた

1 スピーカー端子のつまみを左に回してゆるめる。
2 芯線を切り欠き部に挿入し､つまみを右に回してしっかり締め付ける。



⚠ 注意

スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のケーブルや端子に接触するとショートすることがあります。スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。

バナナプラグでの接続

市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。

- つまみを回して締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

B サブウーハー出力端子 [SUBWOOFER OUT]

低域が物足りない場合は、サブウーハーを接続して低音を補強することができます。市販のRCAケーブルを使って、サブウーハーと接続してください。

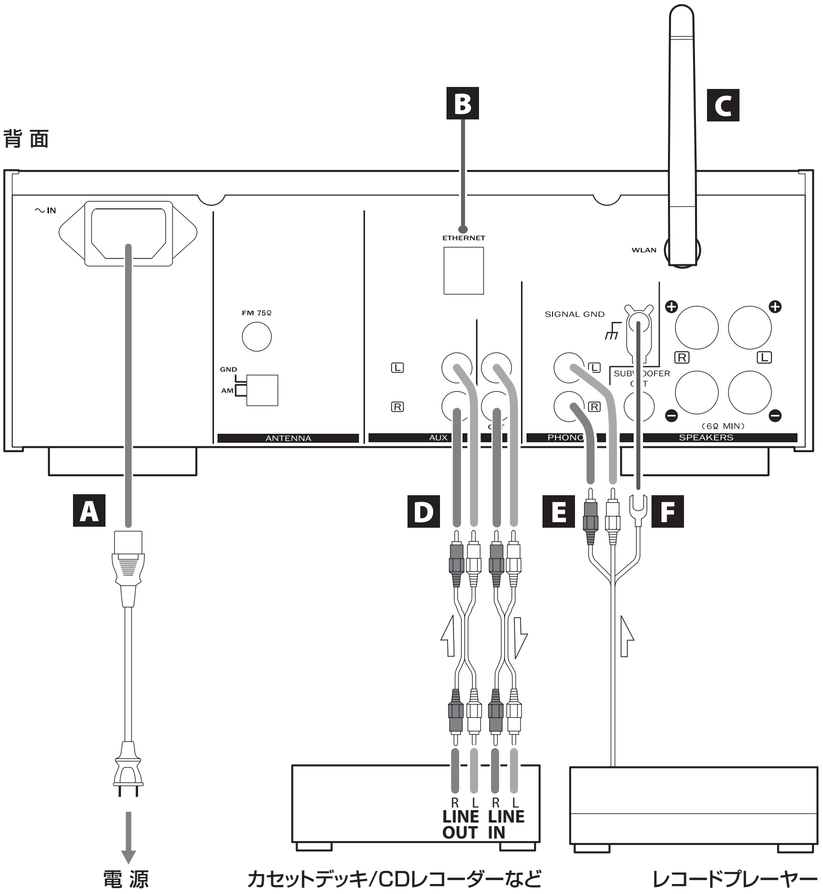
- サブウーハーは、「アンプ内蔵タイプ」をお使いください。メインスピーカーとのバランスを取るために、聴き慣れたソースを再生しながら、サブウーハーの音量を調節します。曲によっては､お好みで調節してください。

接　続

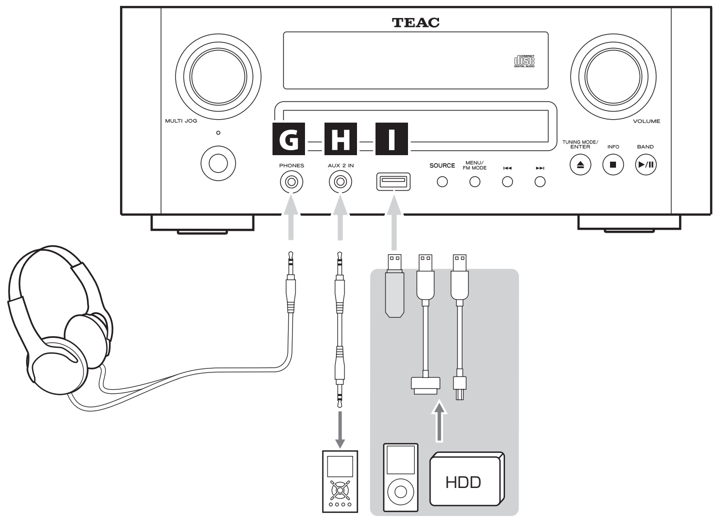
⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

背 面



前 面



A 電源インレット

全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注意

交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

B ETHERNETポート [ETHERNET]

有線LANインターネット接続をするときは、市販のLANケーブルを使って、この端子に接続してください。

- 本機の電源が入っているときにLANケーブルの抜き差しを行った場合は、電源をいったん切り、再度入れ直してください。

C ワイヤレスLANアンテナ [WLAN]

本機の設置場所でワイヤレスLANが使用できるときは、このアンテナで接続します。アンテナを回して上に立ててください。

D アナログ音声入出力端子 [AUX 1]

アナログの音声が入出力されます。
市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の入出力端子を接続してください。

オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

- カセットデッキやCDレコーダーなどの録音機器と接続して使うときは、録音機器の出力端子を本機のAUX 1 INの端子に、録音機器の入力端子を本機のAUX 1 OUTの端子に接続してください。

- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

E フォノ端子 [PHONO]

レコードプレーヤーを接続してください。

オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

- MM型カートリッジ(入力感度：2.5mV/47kΩ)が使えます。MC型は使えません。

F アース端子 [SIGNAL GND]

レコードプレーヤーのアース線を接続してください。

- 本機の安全アースではありません。

- レコードプレーヤーのアースを接続しない場合、ハムノイズが発生することがあります。

G ヘッドホン端子 [PHONES]

ヘッドホンを使うときは、まず音量を最小にしてからヘッドホンプラグを接続し、徐々に音量を上げて調節してください。ヘッドホン端子にプラグが挿入されているときは、スピーカーから音が出なくなります。

⚠ 注意

ヘッドホンを装着したまま、電源のオン/オフ、またはヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。ヘッドホンから大きな音が発生することがあります。

H アナログ音声入力端子 [AUX 2 IN]

市販のステレオミニプラグケーブルを使って、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)と接続して、本機で音声を再生します。

I USBポート

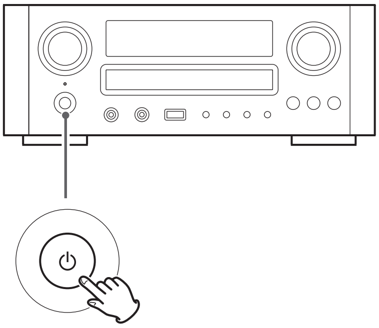
iPod/iPhoneやUSBストレージデバイスを接続します。

現在時刻の設定

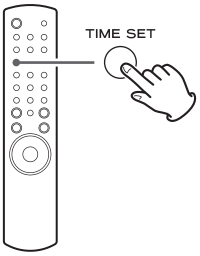
お使いになる前に、現在時刻の設定をしてください。

1 STANDBY/ONボタン[⏻]を押して電源をオンにする。

STANDBY/ONボタンの上のインジケーターが青く点灯します。

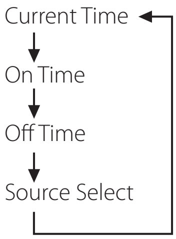


2 時刻設定ボタン[TIME SET]を押す。



「Current Time（現在時刻）」と表示され、「時」表示が点滅します。

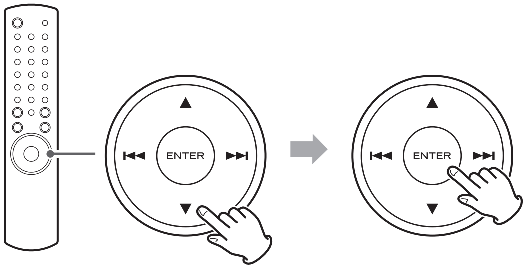
- このときに時刻設定ボタン[TIME SET]を繰り返し押すと、以下のようにメニューが切り換わります。「Current Time」以外のメニューは、目覚ましタイマーの設定に使います。（48ページ）



- 現在時刻の設定を中止するには、停止ボタン[■]を押します。

- 10秒以上放置すると、時刻設定モードは解除されます。

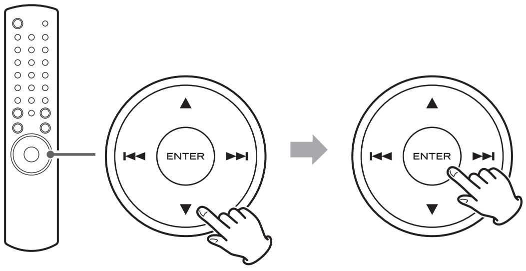
3 スクロールボタン[▲/▼]を押して、「時」を合わせ、エンターボタン[ENTER]を押す。



「分」表示が点滅します。

- 本体のスクロールつまみ[MULTI JOG]とエンターボタン[ENTER]も同じように使えます。

4 スクロールボタン[▲/▼]を押して、「分」を合わせ、エンターボタン[ENTER]を押す。



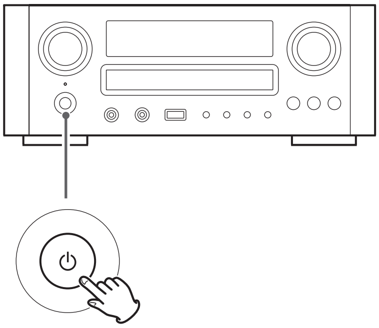
時刻合わせが終了し、合わせた「分」の0秒からスタートします。

- 電源コードをコンセントから抜くと、設定した時刻の記憶は消去されます。

基本操作

ここでは、どのモードにも共通する操作について説明します。

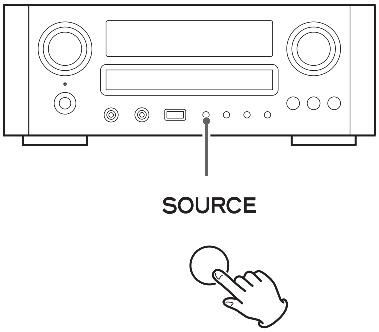
1 STANDBY/ONボタン[⏻]を押して電源をオンにする。



STANDBY/ONボタンの上のインジケーターが青く点灯します。

- 本機は電源ON状態で、操作や外部入力信号が1時間以上ない場合、自動的に電源をOFFします。（オートパワーダウン機能）
  ただし、ネットワークスタンバイ設定(46ページ)で[On]を選択した場合、上記の機能は動作しません。(ネットワークスタンバイ設定の初期状態は、[Off]に設定されています。
- 最後に選択されていたソースのモードで電源がオンになります。
- CDモードまたはiPodモードの再生中にSTANDBY/ONボタンで電源をオフすると、次回の電源オンした時にCDモードまたはiPodモードの自動再生がスタートします。その他のモードでは、自動再生を行いません。

2 ソース切換ボタン[SOURCE]を押して、モードを選ぶ。



ソース切換ボタン[SOURCE]を押すたびに、以下のようにモードが切り替わります。

TUNER → USB/iPod → PHONO → AUX1 → AUX2 → CD → TUNER

チューナーモード（TUNER）のときに、リモコンのチューナーボタン[TUNER]または本体のバンドボタン[BAND]を繰り返し押すと、以下のようにモードが切り替わります。

FM → AM → Internet Radio → Media Player → FM

リモコンのそれぞれの入力切替ボタンも使えます。

[TUNER] . . . . . . チューナーモード
(繰り返し押すと、上記のように切り換わります)

[CD]. . . . . CDモード

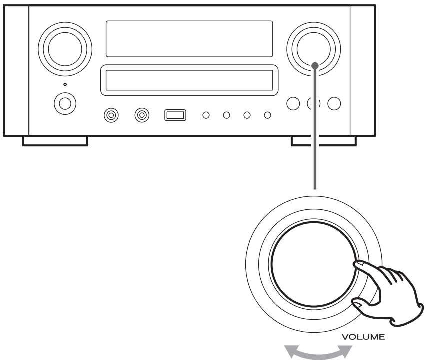
[iPod/USB] . . . . iPod/USBモード

[AUX 1/2] . . . . 外部入力(AUX)モード
(繰り返し押すと、AUX 1とAUX 2が切り換わります)

[PHONO]. . . . . . フォノモード

- インターネットラジオを聴くには、チューナーモードにしたあとにバンドボタン[BAND]で「Internet Radio(インターネットラジオ)」を選ぶか、またはリモコンのチューナーボタン[TUNER]を繰り返し押して「Internet Radio」を選んでください。

3 ソースを再生し、音量つまみ[VOLUME]を回して音量を調節する。



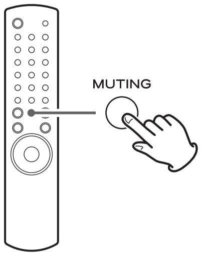
右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。
音量（Volume）は、
MIN、01、02…、44、45、MAX
の間で調節することができます。

- 突然大きな音が出るのを防ぐため、音量は徐々に大きくしてください。

次のページに続きます ➡

基本操作（続き）

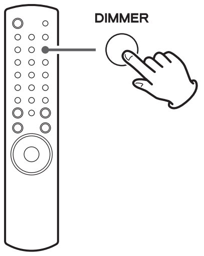
一時的に音を消すには



消音ボタン [MUTING] を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

● 消音中に音量を変更したり、モードを切り換えたりすると、消音は解除されます。

ディマー



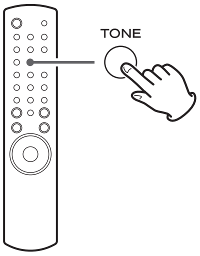
ディマーボタン [DIMMER] を押すと、ディスプレーの明るさが切り換わります。

● STANDBY/ONボタンを押すと、この設定は解除されます。

音質や左右の音量バランスを調節するには

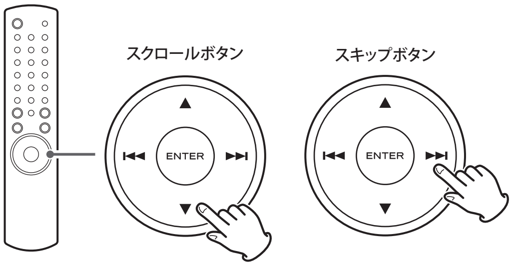
お好みに合わせて、低音域、高音域、左右の音量バランスを調節することができます。

1 トーンボタン[TONE]を繰り返し押してBASS(低音域)、TREBLE(高音域)、またはBALANCE CENTER(左右の音量バランス)を選ぶ。



トーンボタン[TONE]を押すたびに、BASS、TREBLE、BALANCE CENTERが切り替わります。

2 3秒以内にスクロールボタン[▲/▼]またはスキップボタン[⏮/⏭]を押して、調節する。



● スクロールボタン[▲/▼]で低音[BASS]と高音[TREBLE]の調節、スキップボタン[⏮/⏭]で、左右の音量バランス[BALANCE]の調節に使います。
低音域[BASS]、高音域[TREBLE]はそれぞれ「-10」から「+10」まで、左右の音量バランス[BALANCE]を[CENTER(センター)]から、[L(左)、R(右)]をそれぞれ「+6」まで調節できます。

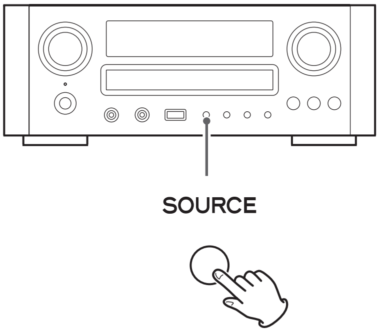
● 本体のスクロールつまみ[MULTI JOG]は同じように低音域[BASS]、高音域[TREBLE]の設定に使えます。

接続した機器の音を聴くには

カセットデッキ、CD レコーダー、レコードプレーヤー、または携帯型オーディオプレーヤーを本機のアナログ音声入出力端子 [AUX 1]、フォノ端子 [PHONO]、または音声入力端子 [AUX 2 IN] に接続して聴くことができます。

1 本機と外部機器を接続する。(16ページ)

2 ソース切換ボタン[SOURCE]を押して、聴きたいモードを選ぶ。



ソース切換ボタン[SOURCE]を押すたびに、以下のようにモードが切り替わります。

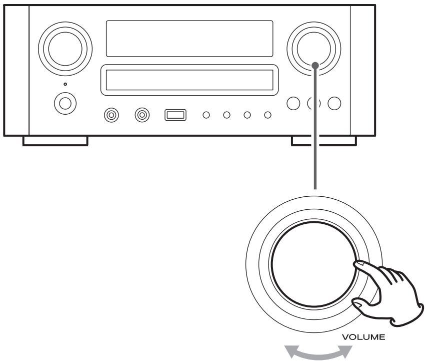
→ TUNER → USB/iPod → PHONO →
AUX1 → AUX2 → CD →（TUNERへ戻る）

リモコンのそれぞれのソース切替ボタンも使えます。

[AUX 1/2] . . . . 外部入力(AUX)モード
(繰り返し押すと、AUX 1とAUX 2が切り替わります)

[PHONO]. . . . . . フォノモード

3 接続した機器で再生を始めて、音量つまみ[VOLUME]を回して音量を調節する。



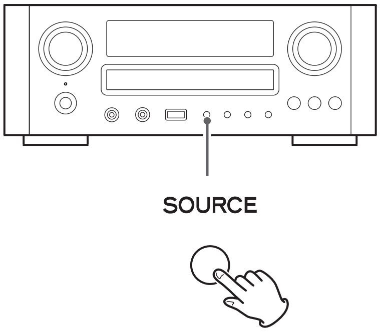
右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。
音量（Volume）は、
MIN、01、02…、44、45、MAX
の間で調節することができます。

- 突然大きな音が出るのを防ぐため、音量は徐々に大きくしてください。
- 携帯型オーディオプレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側のヘッドホン出力音量を上げる必要があります。
- 接続した機器の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

ディスクを聴くには

以下のディスク/ファイルを再生することができます。
ディスク：CD-DA/CD-R/CD-RW
ファイル：MP3/WMA

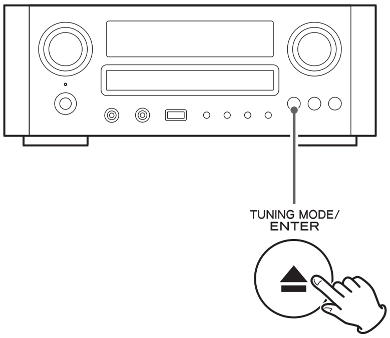
1 ソース切換ボタン[SOURCE]を押して、CDモードを選ぶ。



リモコンのCDボタン[CD]も使えます。

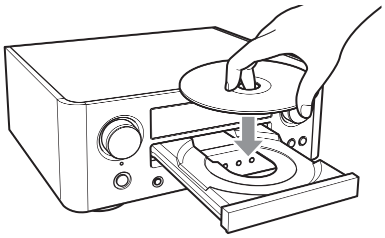
- ディスクがセットされていないときは、「NoDisc」と表示されます。

2 開閉ボタン[▲]を押す。



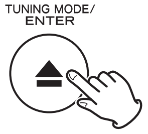
- CDモードになっていないと、トレーは開きません。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。



- トレーには2枚以上ディスクをのせないでください。
- トレーがオープンしたまま10秒経過すると、自動的にトレーが閉まります。
- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。
- トレーの開閉動作中は、手で無理やり開け閉めしないでください。

4 開閉ボタン[▲]を押して、トレーを閉める。



⚠ 注意
指をはさまないよう、ご注意ください。

「Disc Reading」と表示され、ディスクの読み込みを開始します。
読み込みが終了すると以下のように表示されます。

（例）CDの場合

```
CD/Stop
T016  72:00
```

ディスクの総曲数　総再生時間

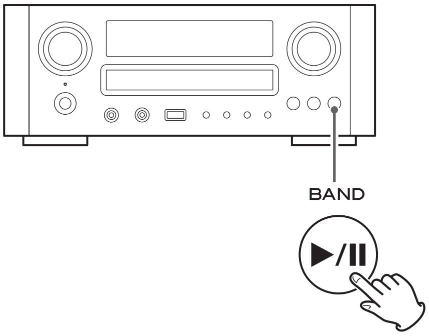
（例）MP3/WMAディスクの場合

```
CD/Stop
Total File 010
```

ディスクの総ファイル数

- ディスクの読み込みには数秒かかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しません。ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。
- ディスクがセットされていないときは、「No Disc」と表示されます。

5 再生/一時停止ボタン[►/❚❚]を押して再生を始める。



1曲目から再生が始まります。
再生中は、以下のように表示されます。

（例）CDの場合

```
CD/Play
T003  00:42
```

再生中の曲番　再生中の曲の経過時間

（例）MP3/WMAディスクの場合

```
CD/Play
T003 00:42 MP3
```

再生中のファイル番号

MP3/WMAの再生中は、「曲名」「アーティスト名」「アルバム名」がスクロール表示されます。

- 本機のディスプレーは半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名にかな漢字などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。
- フォルダに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「ROOT」フォルダに入れられます。再生はROOTフォルダの1曲目から始まります。
- MP3/WMAディスクの再生順については25ページをご覧ください。

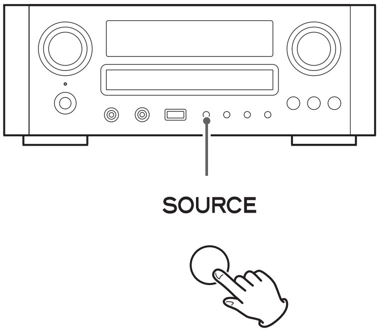
- 最後の曲の再生が終わると停止します。

- ディスクをのせたあと、開閉ボタン[▲]を押さずに(トレーを閉めずに)再生/一時停止ボタン[►/❚❚]またはシャッフルボタン[SHUFFLE]を押すと、自動的にトレーが閉じてディスクの再生が始まります。

USB メモリーを聴くには

本機はUSBフラッシュメモリーを始め、MP3プレーヤーやHDDなど、さまざまなUSBストレージデバイスに保存された音楽ファイルを再生することができます。
再生できるファイルについては、「本機で再生できるファイル」をご覧ください。(9ページ)（以下本書では「USBメモリー」と表記します。）

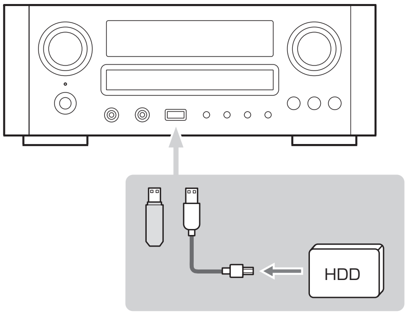
1 ソース切換ボタン[SOURCE]を押して、iPod/USBモードを選ぶ。



リモコンのiPod/USBボタン[iPod/USB]も使えます。

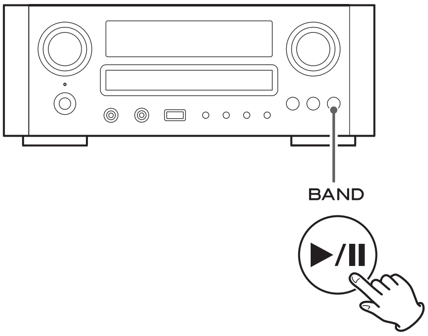
- USBメモリーが接続されていない場合は、「Not Connected」（接続されていません）と表示されます。

2 USBメモリーを接続する。



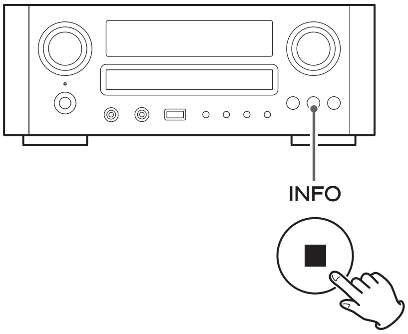
- HDDを接続した場合は、情報の読み込みに時間がかかることがあります。

3 再生/一時停止ボタン[►/❚❚]を押して再生を始める。



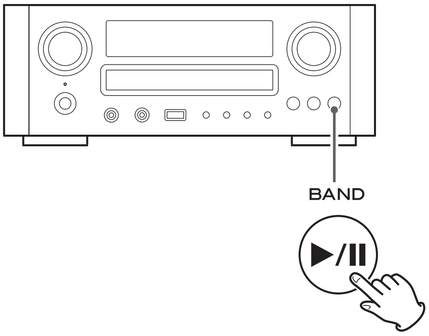
ディスクと USB の操作

再生をやめるには



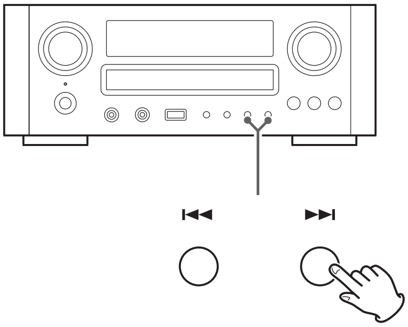
停止ボタン [■] を押すと再生が停止します。
再生 / 一時停止ボタン [►/❚❚] を押すと最初の曲から再び再生が始まります。

再生を一時停止するには



再生 / 一時停止ボタン [►/❚❚] を押すと再生が一時停止します。
再び再生 / 一時停止ボタン [►/❚❚] を押すと一時停止したところから再生が始まります。

聴きたい曲を探すには (スキップ)

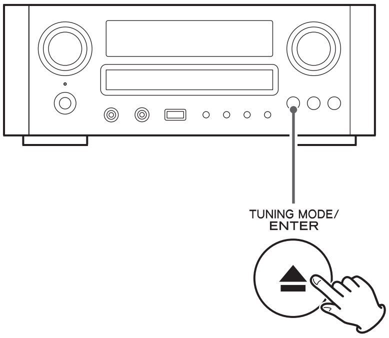


再生中にスキップボタン [⏮ / ⏭] を押すと、前または次の曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で (一時) 停止状態になります。再生 / 一時停止ボタン [►/❚❚] を押すと再生が始まります。

- 再生中は、⏮ を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮ を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。
- CDの再生時、最後の曲で次の曲にスキップすると、先頭の曲に戻ります。
- USBメモリーの再生時、最後の曲で次の曲にスキップすると停止状態になります。

ディスクを取り出すには



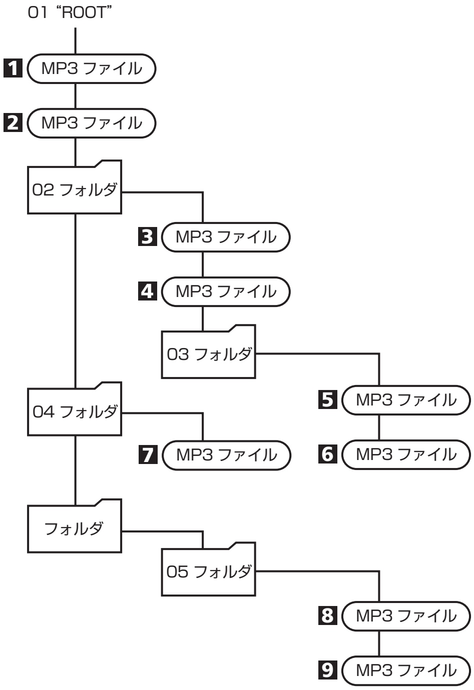
開閉ボタン [⏏] を押すと、再生中の場合は再生が停止し、ディスクトレーが開きます。
ディスクを取り出したあと、再び開閉ボタン [⏏] を押してトレーを閉めてください。

● CDモード以外ではトレーは開きません。トレーを開ける場合はCDモードにしてください。

MP3/WMA ディスクの再生順

MP3/WMAファイルを収録したCDの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3/WMAファイルをフォルダに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダをまとめて1つのフォルダに収めているものもあります。

本機でMP3/WMAディスクを再生するときのフォルダ番号とファイルの再生順(1〜9)の例

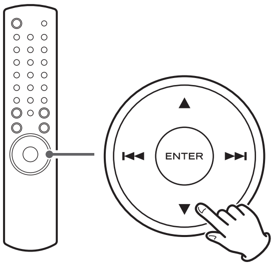


● USBメモリーの再生順は、書き込み条件により変わります。

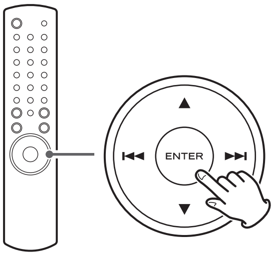
フォルダ内の曲をサーチするには (MP3/WMA)

フォルダ内にある曲名をサーチして選択し、再生することができます。
ファイル名にかな漢字などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、本機で正しく表示されませんので、正確にサーチできません。

1 **スクロールボタン[▲/▼]を押して、聴きたい曲が入っているフォルダを選ぶ。**

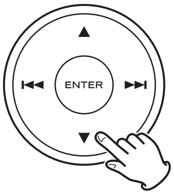


2 **エンターボタン[ENTER]を押す。**

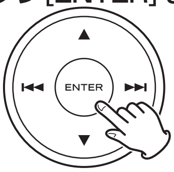


- フォルダに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「ROOT」フォルダに入れられます。

3 **スクロールボタン[▲/▼]を押して、聴きたい曲を選ぶ。**



4 **エンターボタン[ENTER]を押す。**

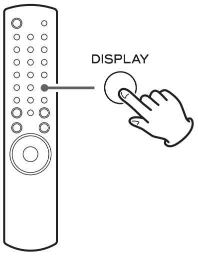


選択した曲の再生が始まります。

- CDモード の時は、メニューボタン[MENU]を押すと１つ前のフォルダーに戻ります。
- USBモードの時は、スキップボタン[⏮]を押すと１つ前のフォルダーに戻ります。

ディスプレーの表示

オーディオ CD の場合



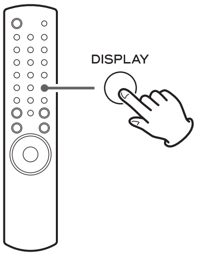
再生中にディスプレーボタン[DISPLAY]を押すたびに、以下のようにディスプレーの表示が変わります。

MP3/WMA ファイルの場合

MP3/WMA ファイルの再生中は以下の情報がスクロール表示されます。

曲名➡ アーティスト名➡ アルバム名

再生中にディスプレーボタン[DISPLAY]を繰り返し押すと、以下のように曲の情報を表示が変わります。

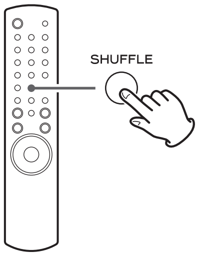


CD再生中の通常表示(スクロール表示)
➡ 再生中のファイル番号と経過時間➡ ファイル名
➡ 曲名➡ アーティスト名➡ アルバム名➡ 通常表示

USBメモリー再生中の通常表示(スクロール表示)
➡ アーティスト名➡ トラック名➡ アルバム名
➡ 通常表示

- 本機のディスプレーは半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名にかな漢字などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

シャッフル再生



シャッフルボタン[SHUFFLE]を押すと、シャッフル再生モードになり、ディスク/USBメモリーの全曲がランダムに再生されます。

ディスクの場合

(例)

```
CD/Random
T003  00:07
```

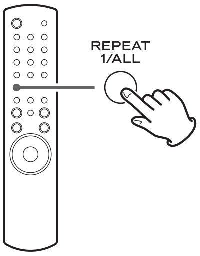
USBメモリーの場合

(例)

```
USB/Random
00:07 WMA
```

- シャッフル再生中に ►►I ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
  シャッフル再生中は、再生が終わった曲には戻れません。
- シャッフルボタン[SHUFFLE]を押すとシャッフル再生モードは解除されます。
- 停止ボタン[■]を押すとシャッフル再生は停止します。
- USBメモリーは、選択したフォルダー内の全ファイル（曲）のみランダムに再生されます。

リピート再生



リピートボタン [REPEAT 1/ALL] を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

RPT 1（1曲リピート）
↓
RPT Folder（フォルダ内 全曲リピート）
↓
RPT ALL（全曲リピート）
↓
オフ（通常の再生）
（→ RPT 1 に戻る）

- 停止ボタン[■]を押すとリピート再生モードは解除されます。

1曲リピート [RPT 1]

再生中の曲をくり返し再生します。

- 1曲リピート再生中にスキップボタン[I◄◄/►►I]を使って他の曲を選んだ場合は、その曲をくり返し再生します。
- 停止中は、リピートボタン[REPEAT 1/ALL]を押してからスキップボタン[I◄◄/►►I]で曲を選び、再生/一時停止ボタン[►/II]を押すと、1曲リピート再生を始めます。

フォルダ内 全曲リピート [PRT Folder]

フォルダ内の全曲をくり返し再生します。
（MP3/WMAファイルのみ再生します。）

- リピート再生中にスキップボタン[I◄◄/►►I]を使って他のフォルダに移動できます。その場合、移動先のフォルダ内の全曲をくり返し再生します。
  （CD 再生のみ［RPT Folder］を表示します。USB メモリーの際は、表示しません。）

全曲リピート [RPT ALL]

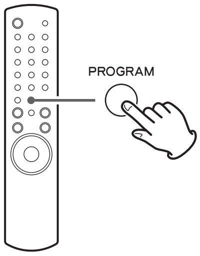
全曲をくり返し再生します。

- プログラム再生中は、プログラムした曲をくり返し再生します。

プログラム再生

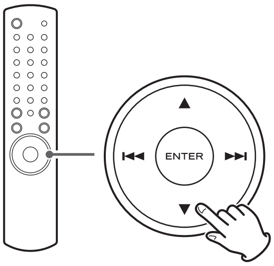
CDモードのとき、ディスクの中から再生したい順番に32曲までプログラムすることができます。

1 停止中にプログラムボタン[PROGRAM]を押す。

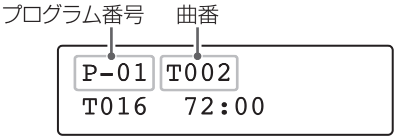


(例)

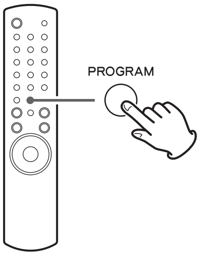
2 スクロールボタン[▲/▼]を押して、プログラムしたい曲を選ぶ。



(例)



3 5秒以内にプログラムボタン[PROGRAM]を押す。



選択した曲番またはファイルがプログラムされます。

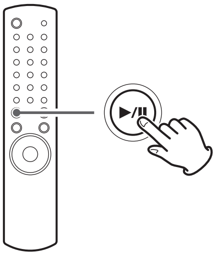
複数の曲をプログラムするとき

スクロールボタン[▲/▼]を押すと「P-02」が表示されます。

2～**3** の手順を繰り返してください。

- 消去ボタン[CLEAR]を押すと、最後のプログラムが消去されます。
- 32曲までプログラムできます。32曲以上プログラムしようとすると「P-FULL」と表示され、それ以上プログラムできません。

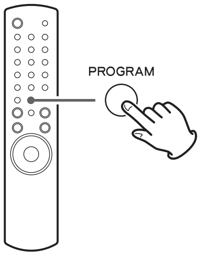
4 プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン[►/II]を押す。



プログラム再生が始まります。

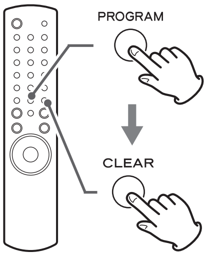
- 全ての曲の再生が終わると、プログラムモードは解除されます。または、停止ボタン[■]、STANDBY/ONボタンを押しても、プログラムモードは解除されます。
- 開閉ボタン[▲]を押してディスクトレーを開けると、プログラムの内容は消去されます。

プログラムの内容をチェックするには



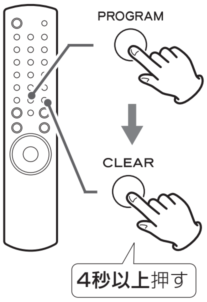
停止中にプログラムボタン [PROGRAM] を押すたびに、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

プログラムの一部を消去するには



停止中に、**削除したい曲番が表示されるまで**プログラムボタン [PROGRAM] を繰り返し押してから、消去ボタン [CLEAR] を押してください。選択した曲番がプログラムから消去されます。

全てのプログラム内容を消去するには



停止中に、プログラムボタン [PROGRAM] を押してから、消去ボタン [CLEAR] を 4 秒以上押してください。全てのプログラム内容が消去されます。

● 以下の場合にも、全てのプログラム内容が消去されます。

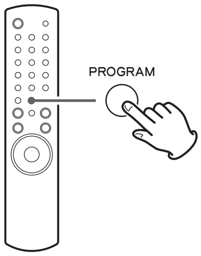
STANDBY/ONボタンを押してスタンバイ(オフ)状態にした場合

開閉ボタン[⏏]を押してディスクトレーを開けた場合

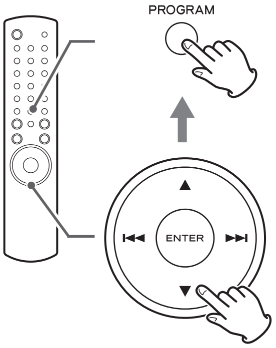
電源コードをコンセントから抜いた場合

プログラムの最後に曲を追加するには

停止中に、**「P-END」が表示されるまで**プログラムボタン [PROGRAM] を繰り返し押します。



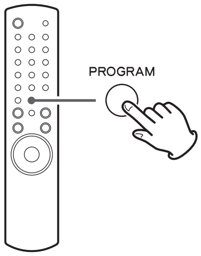
スクロールボタン [▲/▼] で追加したい曲番を選び、プログラムボタン [PROGRAM] を押します。



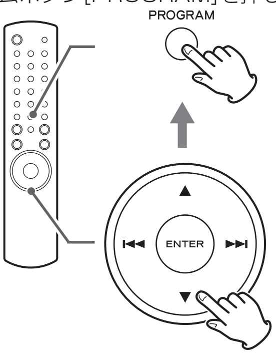
選択した曲番がプログラムの最後に追加されます。

プログラムの一部を書き換えるには

停止中に、**書き換えたい曲番が表示されるまで**プログラムボタン [PROGRAM] を繰り返し押します。



スクロールボタン[▲/▼]で新しく上書きしたい曲番を選び、プログラムボタン[PROGRAM]を押します。

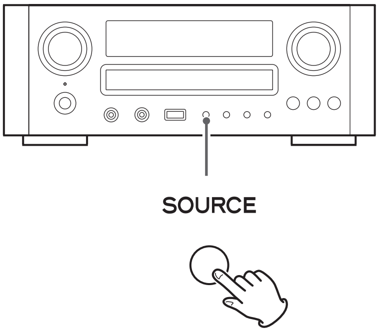


選択した曲番に書き換えられます。

iPod を聴くには

7 ページの「Apple 製品について」をお読みください。

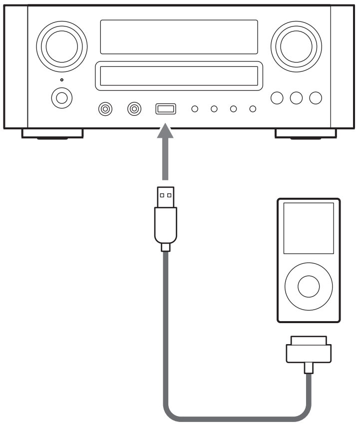
1 ソース切換ボタン[SOURCE]を押して、iPod/USBモードを選ぶ。



リモコンのiPod/USBボタン[iPod/USB]も使えます。

● iPodが接続されていない場合は、「Not Connected」（接続されていません）と表示されます。

2 本機とiPodを、iPodに付属のUSBケーブルで接続する。



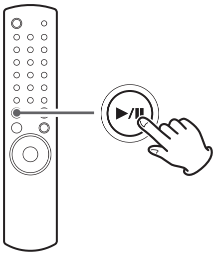
iPodの電源が自動的にオンになり、iPodのプレイリストにしたがって再生が始まります。

● iPod/USBモード以外のモードになっているときは、iPodは電源が自動的にオンになり、ポーズ(一時停止)状態になります。

● 本機に iPod を接続すると、本機の電源が ON のときのみ充電します。フル充電すると充電を停止します。本機の電源が OFF のときは充電出来ません。

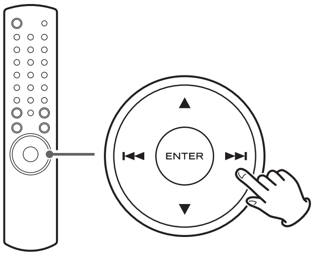
● iPodにヘッドホンが差し込まれている場合、iPodのヘッドホンからは音が出ません。本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してお聴きください。

再生を一時停止するには



再生/一時停止ボタン[►/❚❚]を押すと再生が一時停止します。
一時停止中に再生/一時停止ボタン[►/❚❚]を押すと、再び再生を始めます。

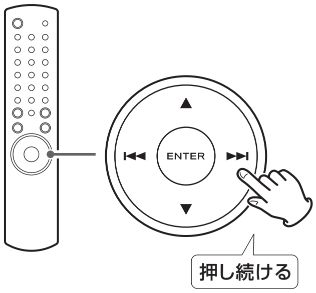
聴きたい曲を探すには



再生中または一時停止中にスキップボタン[⏮/⏭]を押すと、前または次の曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。選択された曲の始めから再生を始めます。

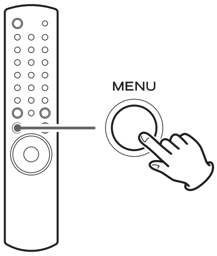
● 再生中は、⏮を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮を続けて押してください。

聴きたい部分を探すには



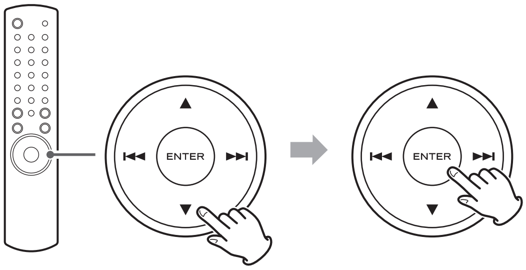
再生中にサーチボタン[⏮ / ⏭]を押したままでいると、早戻し/早送りができます。聴きたいところで指をはなしてください。

前のメニューに戻るには



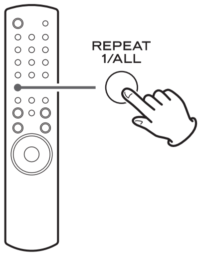
メニューボタン[MENU]を押すと、ひとつ前のメニューを表示します。iPodのMENUボタンと同じ機能です。

メニュー項目を選ぶには



停止中にスクロールボタン[▲/▼]を押して、メニュー項目を選び、エンターボタン[ENTER]を押してください。

リピート再生

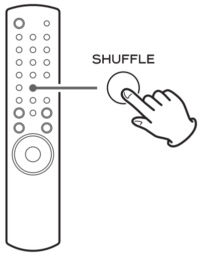


リピートボタン[REPEAT 1/ALL]を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

RPT 1（1曲リピート）→ RPT ALL（リストの全曲リピート）→ Play（通常の再生）→ RPT 1

1曲リピートにしたときには、iPodのディスプレーに( ) が表示されます。
全曲リピートにしたときには、iPodのディスプレーに( )が表示されます。

シャッフル再生



シャッフルボタン[SHUFFLE]を押を押すたびに、以下のようにシャッフルのモードが変わります。

RDM Songs → RDM Album → RDM off（通常の再生）→ RDM Songs

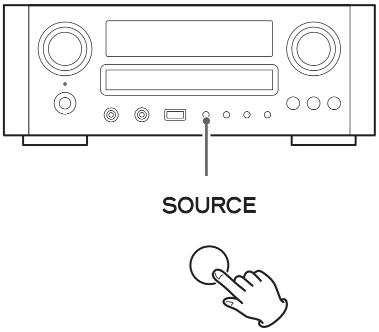
※ RDM：ランダム（RANDOM）の略

「RDM Song」を選ぶと、選択したアルバムやプレイリストの曲をランダムに再生します。
「RDM Album」を選ぶと、アルバムをランダムに選んで再生します。アルバムの中身は、順序通り再生します。

シャッフルをオンにしたときには、iPodのディスプレーに( )が表示されます。

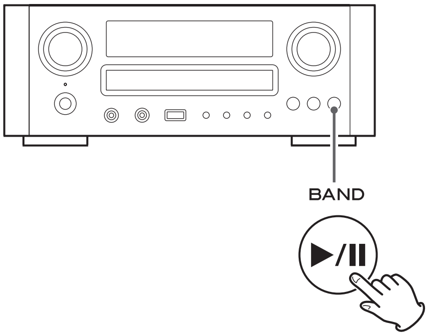
AM/FM ラジオを聴くには

1 ソース切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。



● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

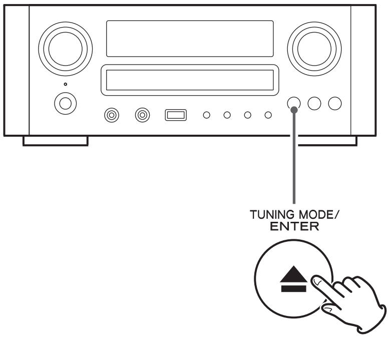
2 バンドボタン[BAND]を押してAMまたはFMを選ぶ。



バンドボタン[BAND]を押すたびに、AM/FM/インターネットラジオ/メディアプレーヤーが切り換わります。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

3 チューニングモードボタン[TUNING MODE]を押してチューニングモードを選ぶ。

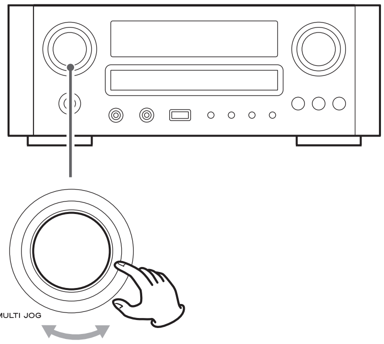


チューニングモードボタン[TUNING MODE]を押すたびに、以下のようにチューニングモードが変わります。

Manual Tune（マニュアル）→ Auto Tune（オート）→ Preset Tune（プリセット）→（Manual Tuneに戻る）

● プリセットの方法は、次のページをご覧ください。

4 選局つまみ[MULTI JOG]を回して聴きたい放送局を選ぶ。



マニュアル選局モード

選局つまみ [MULTI JOG] を回して聴きたい放送局を選びます。

固定されたステップで周波数が変わります。(FM: 0.1MHz ステップ、AM: 9 kHz ステップ)

● リモコンのスクロールボタン[▲/▼]も同じように使えます。

オート選局モード

選局つまみ [MULTI JOG] を回すと、選局が自動的に始まります。放送局を受信すると止まります。

聴きたい放送局を受信するまで繰り返してください。

本体のエンターボタン [ENTER] を押すと、オート選曲は止まります。

● リモコンのエンターボタン[ENTER]を押しても、オート選曲は停止しません。

プリセット選局モード

選局つまみ [MULTI JOG] を回してプリセットされた放送局を選びます。

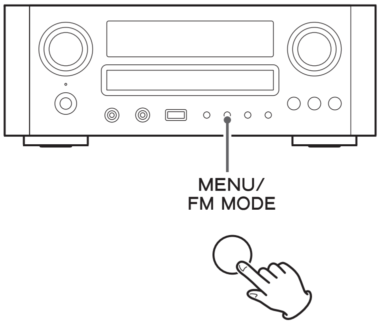
● リモコンのスキップボタン[⏮/⏭]も同じように使えます。

受信状態が悪いときは

受信状態が悪いときは、FM アンテナまたは AM アンテナの向きを変えるなどして、最も良く受信できる位置を探してください。

FM モード

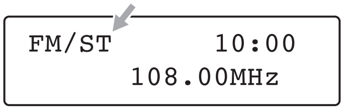
FM モードボタン [FM MODE] を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。



Stereo(ステレオ)

FM ステレオ放送をステレオで受信します。
FM ステレオ放送の受信中はディスプレーに「ST」が表示されます。

(例)



Mono(モノラル)

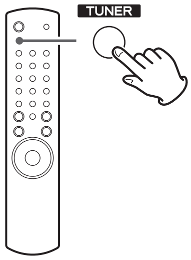
FM 放送をモノラルで受信します。
ステレオ放送の受信状態が悪いときはこのモードを選んでください。音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

AM/FM 放送局のプリセット

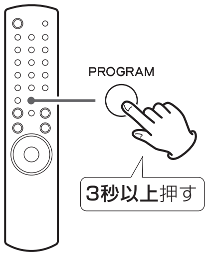
よく聴く局を、FM30 局、AM30 局まであらかじめ登録 (プリセット) しておくことができます。
プリセット方法には、オートプリセットとマニュアルプリセットがあります。

オートプリセット

1 チューナーボタン[TUNER]を押してAMまたはFMを選ぶ。



2 プログラムボタン[PROGRAM]を3秒以上押す。



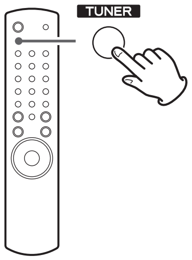
受信状態の良い放送局を、自動的に30曲までプリセットします。

次のページに続きます

AM/FM 放送局のプリセット（続き）

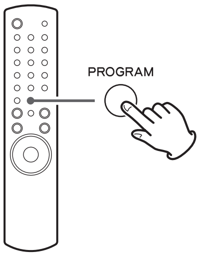
マニュアルプリセット

1 チューナーボタン[TUNER]を押してAMまたはFMを選ぶ。



2 プリセットしたい放送局を受信する。(32ページ)

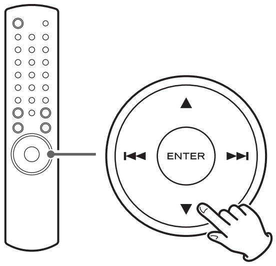
3 プログラムボタン[PROGRAM]を押す。



(例)

```
FM          10:00
CH__     108.00MHz
```

4 4秒以内にスクロールボタン[▲/▼]を押して、プリセット番号を選ぶ。

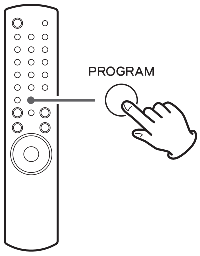


(例)

```
FM          10:00
CH12     108.00MHz
```

プリセット番号

5 4秒以内に、プログラムボタン[PROGRAM]を押す。



受信中の放送局が、選択したプリセット番号に登録されます。

他の放送局をさらに登録するときは、**2** から **5** の手順を繰り返します。

- 4秒以内に、プログラムボタン[PROGRAM]を押さないと、マニュアルプリセットモードは解除されます。

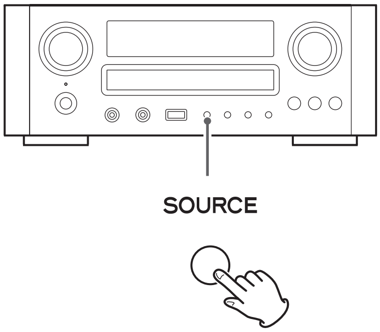
登録した放送局を聴くには

32ページの「プリセット選局モード」をご覧ください。

ネットワークのセットアップ

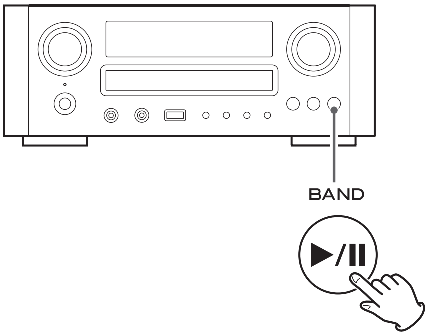
初めてネットワーク機能を使用する前に、インターネット接続に必要なセットアップを行う必要があります。

1 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。



- リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

2 バンドボタン[BAND]を押してインターネットラジオ(Internet Radio)を選ぶ。

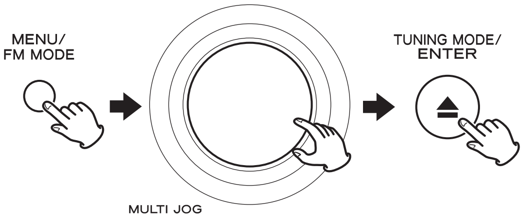


バンドボタン[BAND]を押すたびに、AM/FM/インターネットラジオ/メディアプレーヤーが切り換わります。

- リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

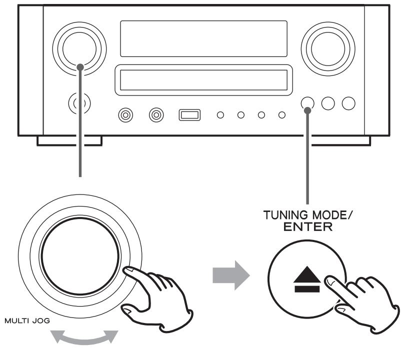
セットアップウィザードが開始します。

3 メニューボタン［MENU/FM MODE］を押して、「Setup Menu」（セットアップメニュー）を選び、スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して「Network」(ネットワーク)を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。



- 前の画面に戻るには、⏮ を押します。

4 スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して「Wired(有線)」または「Wireless(無線)」を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。



- 「Wired」を選んだ場合：

  スクロールつまみ[MULTI JOG]とエンターボタン[ENTER]を使用し、「DHCP」と「Proxy Setting」の設定を行う。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねください。

  本機にLANケーブルが接続されていることを確認してください。

次のページに続きます ➡

● 「Wireless」を選んだ場合：
1 スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して「Search AP」を選び、エンターボタン[ENTER] を押す。
2 スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して接続したいアクセスポイントを選び、エンターボタン[ENTER]を押す。
3 ワイヤレスセキュリティのパスワード「KEY」入力を求められた場合はスクロールつまみ[MULTI JOG]を使って入力したい文字を選択する。
文字の入力のしかたは、右側にある「文字の入力方法」をご覧ください。
4 スキップボタン[⏮/⏭]を押して、カーソルを移動させる。
5 全ての文字を入力したらエンターボタン[ENTER]を押す。

本機とアクセスポイントの接続が成功すると Success と表示されます。[MENU/FM MODE]ボタンを押して「Save」を表示し、スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して「Yes」を選び、エンターボタン[ENTER]を押します。

本機にLANケーブルが接続されていないことを確認してください。

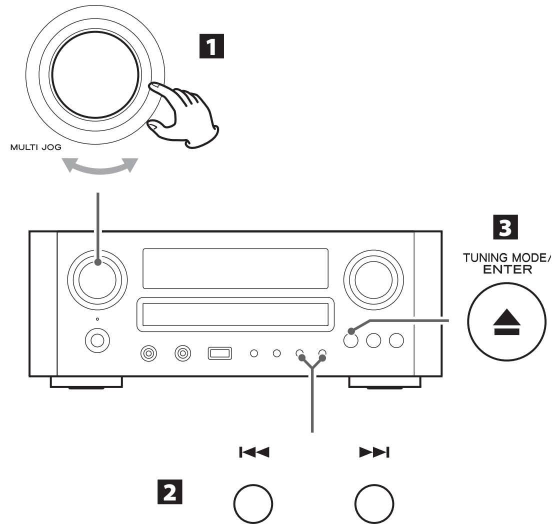
インターネット接続を開始します。
接続すると、インターネットラジオメニューが表示されます。

● ワイヤレスセキュリティのパスワードを間違って入力すると「Failure」と表示が出て、その後「Network Problem」で表示が止まります。
その場合は、下記手順で「Wireless」選択画面に戻して設定をやり直してください。
1 [MENU/FM MODE]ボタンを押してSetup Menuを表示する
2 スクロールつまみ[MULTI JOG]を回してNetworkを表示させる
3 [ENTER]ボタンを押すと　Wireless　が表示される

● ワイヤレスセキュリティのパスワードは、大文字と小文字が識別されますのでご注意ください。

● インターネット接続ができないときは、「困ったときは」の「ネットワーク」をご覧ください。(55ページージ)

文字の入力方法



1 スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して、文字を選択する。

2 入力する文字を選んだら、⏭を押して、カーソルを移動させる。
前の文字に戻るときは、⏮を押します。

3 エンターボタン[ENTER]を押して、文字を確定する。
他の文字をさらに入力するときは、1から3の手順を繰り返します。

4 全ての文字を入力したら、カーソルが最後の文字のところにあることを確認し、エンターボタン[ENTER]を押す。

入力できる文字

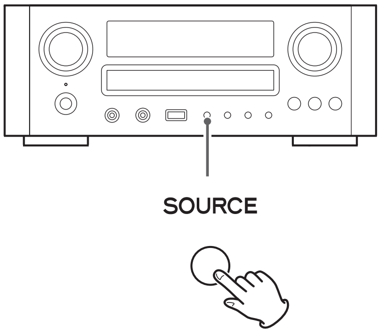
0123456789
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
(space)!” #¤%&’ ()*+,-./:;<=>?@[\]-_¦|`{¦}¯

インターネットラジオを聴くには

インターネットラジオ / ポッドキャストを聴くには

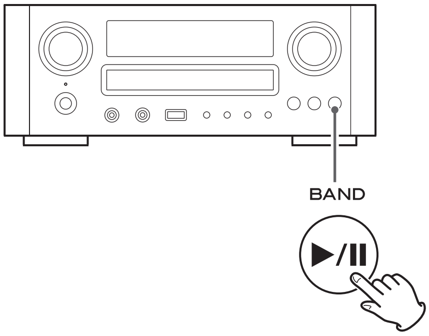
初めてインターネットラジオ/ポッドキャストを聴く前に、インターネット接続に必要なセットアップを行ってください。(35ページ)

1 ソース切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。



● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

2 バンドボタン[BAND]を押してインターネットラジオ(Internet Radio)を選ぶ。



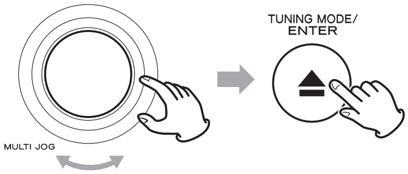
バンドボタン[BAND]を押すたびに、AM/FM/インターネットラジオ/メディアプレーヤーが切り換わります。

● リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

3 スクロールつまみ[MULTI JOG]を回してサーチ方法を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。

(例)

```
›Internet Radio
 Favorites
```



Favorites (お気に入り)

お気に入りに追加した放送局/ポッドキャストのリストからサーチします。

お気に入りリストは、インターネットラジオのポータルサイトで作成できます。(39ページ)

注意：初めてアクセスしたときはお気に入りが登録されていないため　---- empty ---- (空の意味) と表示が出ます。

その場合は|◀◀ボタンをを押して上記の表示に戻し、他の方法でサーチしてください。もしくはお気に入りリストを登録（39ページ）した後にアクセスしてください。

Added Stations (追加した放送局/ポッドキャスト)

インターネットラジオのポータルサイトで追加したリストからサーチします。(39ページ)

Station list にはたくさんの放送局/ポッドキャストがありますが、それに含まれていない放送局/ポッドキャストを聴きたいときに使います。

Location (ロケーション)

放送局や配信者の地域でサーチします。

Genre (ジャンル)

放送局/ポッドキャストの内容のジャンルでサーチします。

Podcasts By Location (ポッドキャストの地域)

ポッドキャストの地域でサーチします。

Podcasts By Genre (ポッドキャストのジャンル)

ポッドキャストの内容のジャンルでサーチします。

New Stations (新しい放送局)

新規に追加された放送局のリストからサーチします。

Most Popular Stations (人気の放送局)

人気のある放送局のリストからサーチします。

次のページに続きます

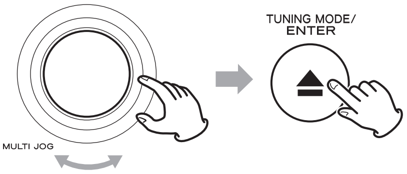
インターネットラジオを聴くには（続き）

Recently Played（最近聴いた放送局/ポッドキャスト）

最近聴いた放送局/ポッドキャストのリストからサーチします。

4 **3**で、Location(ロケーション)、Genre(ジャンル)、Podcasts By Location(ポッドキャストの地域)、Podcasts By Genre(ポッドキャストのジャンル)を選んだ場合

スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して項目を選び、エンターボタン[ENTER]を押す。

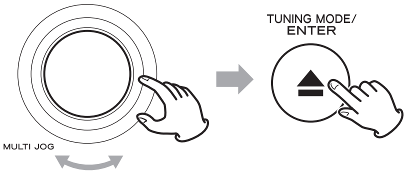


（例）

```
 Business News
›Celtic
```

放送局/ポッドキャストのリストが表示されます。

5 **スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して聴きたい放送局/ポッドキャストを選び、エンターボタン[ENTER]を押す。**



（例）

オープン中

```
Internet Radio
00:00 0%
```

↓

バッファ中

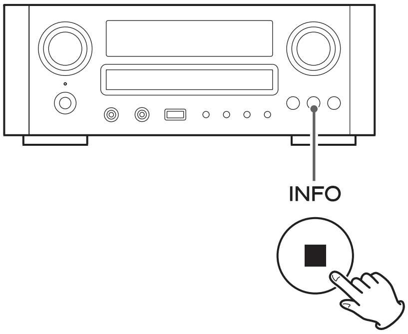
```
Internet Radio
00:00 10%
```

↓

再生中

```
Internet Radio
00:02 MP3
```

ディスプレーの表示



情報表示ボタン[INFO]を押すたびに、以下のようにディスプレーの2行目の表示が変わります。
(1行目にはInternet Radioと表示されます)

Elapsed time and File Format(経過時間)
↓
Station(経過時間)
↓
Track(曲名)
↓
Album(アルバム名)
（→ Elapsed time and File Format(経過時間) に戻る）

● 情報がない場合は空欄になります。

インターネットラジオ ポータルサイト

パソコンのWebブラウザから、インターネット上にあるラジオのポータルサイトにアクセスして、本機の機能をフルに楽しむことができます。

お気に入りリスト

ポータルサイトでは、お気に入りリストを作成することができます。このリストは本機から見ることができ、よく聴く放送局/ポッドキャストを見つけるのに便利です。作成したお気に入りリストは、本機のインターネットラジオメニューの「Favorites (お気に入り)」で見ることができます。

放送局/ポッドキャストの追加

すでにあるリストに含まれていない放送局/ポッドキャストをこのリストに追加できます。このリストは、本機のインターネットラジオメニューの「Added Stations (追加した放送局/ポッドキャスト)」で見ることができます。

ポータルサイトにアクセスするには

ユーザー登録の方法

1 パソコンのWebブラウザを開き、以下のURLにアクセスする。

http://teac.vtuner.com/

ここでは日本語のページで登録する方法を説明します。

2 v Tuner のホーム画面左上にある日本国旗をクリックして日本語のページにする。

3 「Not a member? Register here. 」をクリックして、ログインアカウントページを開く。

4 MACアドレス（12桁）を入力する。

- 英数字の間の「:」は入力する必要はありません。

※本機のMACアドレスを確認する方法

メニューボタン[MENU]を押して、セットアップメニュー (Setup.Menu)を開く。

スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して「Information」を選んでENTERボタンを押す

スクロールつまみ[MULTI JOG]を回してMAC Addressの項目を表示する

Device Name→ IP Address → Subnet Mask → Gateway → DNS Server1 → DND Server2 → SSID → MAC Address → Firmware Version → Device Nameに戻る

5 Eメールアドレスとパスワードを入力する。

入力方法は登録画面の案内に従ってください。

電子メール アドレス：ログインIDになります。

パスワード：ログイン時に必要になりますので、必ずメモしてください。

6 「登録」をクリックしてユーザー登録を完了する。

放送局をお気に入りリストに追加する

1 お気に入りリストに追加する放送局を選ぶ。

ジャンル別、地域別、言語別の表示に切り替えたり、お好きな方法で放送局を選んでください。

2 お気に入りグループを作成する。

例えば「お気に入り１」や「ポップス」などの名前をつけていくつもグループを作ることができます。グループ名をダイアログボックスに入力して「go」ボタンをクリックしてください。入力したグループ名が「お気に入りグループ」に追加されます。

注意

お気に入りグループ名は半角英数字で入力してください。かな漢字を使うと本機のディスプレーで文字化けして読めなくなります。

3 「お気に入りグループ」を呼び出す。

ログイン後のポータルサイト「お気に入りグループ」もしくは、本機のインターネットラジオメニューの「Favorites(お気に入り)」で見ることができます。

メディアプレーヤーの設定

メディアプレーヤーについて

メディアプレーヤー機能を使うと、ネットワークを利用してパソコン内の音楽ファイルを再生できます。パソコン内の音楽ファイルにアクセスするには、メディア共有とフォルダ共有の2通りがあります。

メディア共有

メディア共有では、共有ライブラリーにある音楽ファイルのアーティスト名、ジャンル、アルバム名などのタグ情報を見るだけでなく、再生もできるようになります。

- 本機のディスプレーには、半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

Windows XP、Windows Vista、またはWindows 7と、Windows Media Player 11以降がインストールされているパソコンを使用してください。

フォルダ共有

他のパソコンや本機から、音楽ファイルにアクセスできるようにフォルダ共有の設定をすると、ファイル共有を利用できます。

Windows Media Player 12 の設定

1 パソコンをネットワークに接続する。

2 本機をネットワークに接続する。

ネットワークに接続できないときは、「困ったときには」の「ネットワーク」をご覧ください。(55ページ)

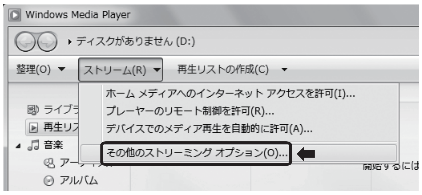
3 共有したいファイルがWindows Media Playerのライブラリーにないときは、ファイルをライブラリーに追加する。

詳しくは、Windows Media Playerのヘルプを参照してください。

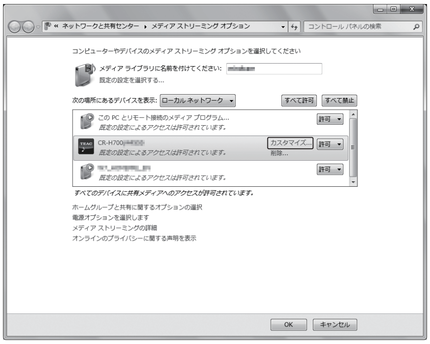
4 Windows Media Playerの「ストリーム」から「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。

5 表示された画面で、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。

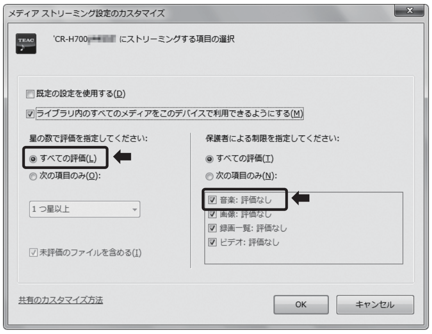
6 Windows Media Playerの「ストリーム」から「その他のストリーミングオプション」を選ぶ。



7 デバイスの一覧から本機を選び、「カスタマイズ」をクリックする。



8 共有の設定をし、「OK」をクリックする。



- 「すべての評価」を選ぶと、評価に関わらず再生することができます。
- 「音楽」にチェックマークが付いていることを確認してください。

9 表示された画面で「OK」をクリックする。

- 再生のしかたについては、「メディアプレーヤーで聴くには」をご覧ください。(44ページ)

Windows Media Player 11 の設定

1 パソコンをネットワークに接続する。

2 本機をネットワークに接続する。

ネットワークに接続できないときは、「困ったときには」の「ネットワーク」をご覧ください。(55ページ)

3 共有したいファイルがWindows Media Playerのライブラリーにないときは、ファイルをライブラリーに追加する。

詳しくは、Windows Media Playerのヘルプを参照してください。

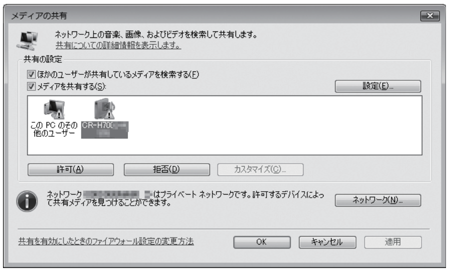
4 Windows Media Playerの「ライブラリ」から「メディアの共有」を選ぶ。

「メディアの共有」ウィンドウが開きます。

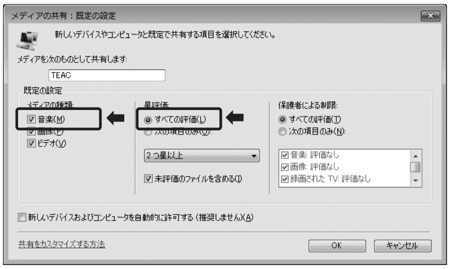
5 「メディアを共有する」にチェックマークを付ける。

本機が一覧に表示されます。

6 本機を選び、「許可」をクリックする。



7 共有の設定をし、「OK」をクリックする。



- 「すべての評価」を選ぶと、評価に関わらず再生することができます。
- 「音楽」にチェックマークが付いていることを確認してください。
- 再生のしかたについては、「メディアプレーヤーで聴くには」をご覧ください。(44ページ)

フォルダ共有の設定 (Windows XP)

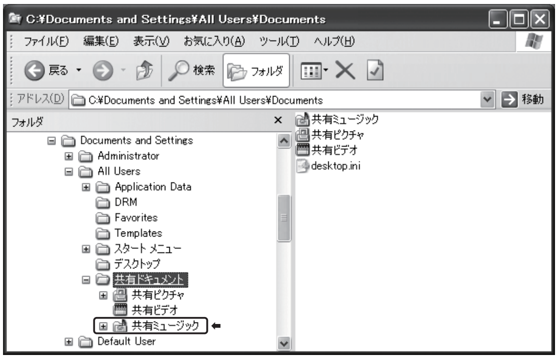
1 パソコンが属しているドメイン名とワークグループ名を確認する。

フォルダ共有の設定をする前に、同じドメインまたはワークグループにパソコンが属していることを確認してください。(初期設定では同じワークグループに属しています。)「コントロール パネル」→「システム」→「コンピュータ名」を順に選び、確認してください。

2 ユーザーアカウント名とパスワードを確認する。

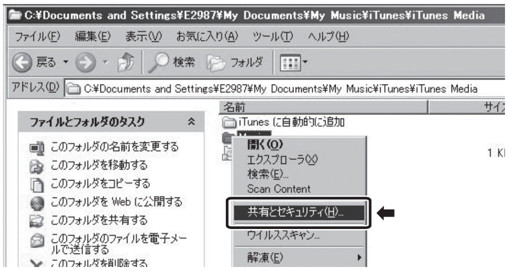
本機からパソコンにアクセスするときは、ユーザーアカウント名とパスワードが必要になります。

3 本機で再生したい曲(ファイル)を「共有ドキュメント」➜「共有ミュージック」フォルダにコピーする。



● 「共有ミュージック」フォルダ以外に再生したい曲(ファイル)をコピーしても本機から再生できません。他のフォルダの曲(ファイル)を再生するには、共有フォルダの設定を行ってください。

4 共有したいファイルが入っているフォルダを右クリックし、「共有とセキュリティ」を選ぶ。



5 「共有」タブの「このフォルダを共有する」を選ぶ。

Windows Media Playerの「ライブラリ」に共有フォルダの曲(ファイル)を追加してください。

本機が[メディアプレーヤー]で起動していた場合、44ページの「メディアプレーヤーで聴くには」の手順3からもう一度、[メディアプレーヤー]を選択してください。

フォルダ共有の設定 (Windows Vista)

1 パソコンが属しているドメイン名とワークグループ名を確認する。

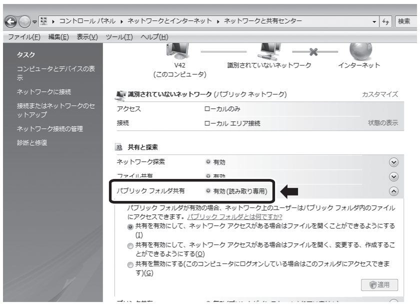
フォルダ共有の設定をする前に、同じドメインまたはワークグループにパソコンが属していることを確認してください。(初期設定では同じワークグループに属しています。)「コントロール パネル」→「システムとメンテナンス」→「システム」を順に選び、確認してください。

2 ユーザーアカウント名とパスワードを確認する。

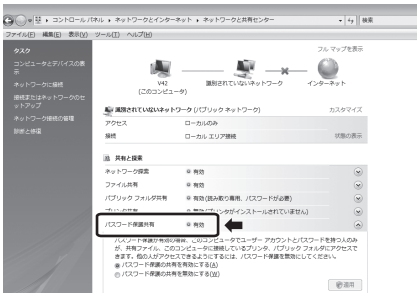
本機からパソコンにアクセスするときは、ユーザーアカウント名とパスワードが必要になります。

3 「コントロール パネル」➜「ネットワークとインターネット」➜「ネットワークと共有センター」を順に選ぶ。

4「パブリック フォルダ共有」を「有効 (読み取り専用)」に設定する。



5「パスワード保護共有」を「有効」に設定する。



6 本機で再生したいファイルを、「パブリック」の「パブリックのミュージック」フォルダにコピーする。

フォルダ共有の設定 (Windows 7)

1 パソコンが属しているドメイン名とワークグループ名を確認する。

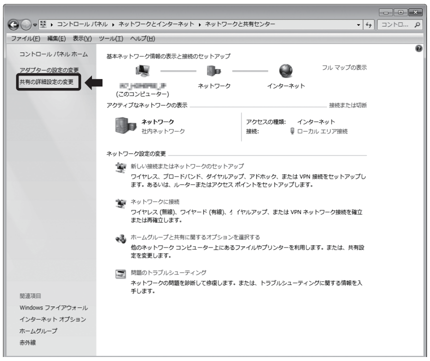
フォルダ共有の設定をする前に、同じドメインまたはワークグループにパソコンが属していることを確認してください。(初期設定では同じワークグループに属しています。)「コントロール パネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」を順に選び、確認してください。

2 ユーザーアカウント名とパスワードを確認する。

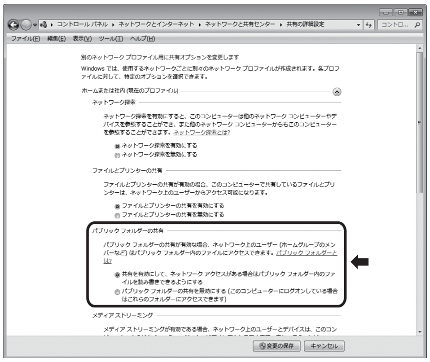
本機からパソコンにアクセスするときは、ユーザーアカウント名とパスワードが必要になります。

3「コントロール パネル」➡「ネットワークとセキュリティ」➡「ネットワークと共有センター」を順に選ぶ。

4「共有の詳細設定の変更」をクリックする。



5「パブリック フォルダーの共有」の「共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はパブリックフォルダー内のファイルを読み書きできるようにする」を選ぶ。



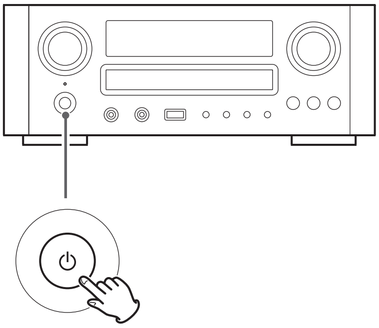
6「変更の保存」をクリックする。

7 本機で再生したいファイルを、「パブリック」の「パブリックのミュージック」フォルダにコピーする。

メディアプレーヤーで聴くには

- この機能を使用する前に、インターネット接続に必要なセットアップを行ってください。詳しくは、「ネットワークのセットアップ」をご覧ください。（35ページ）

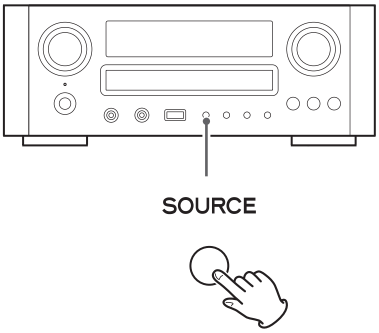
1 STANDBY/ONボタン[⏻]を押して電源をオンにする。



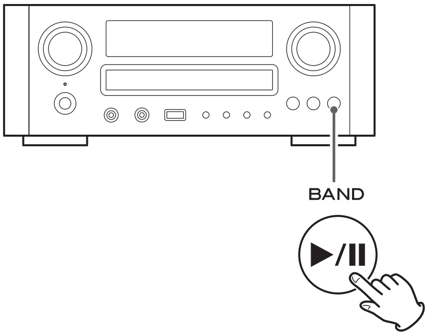
STANDBY/ONボタンの上のインジケーターが青く点灯します。

2 本機とパソコンまたはNAS（Network Attached Storage：ネットワーク・アタッチト・ストレージ）サーバーをネットワークに接続する。

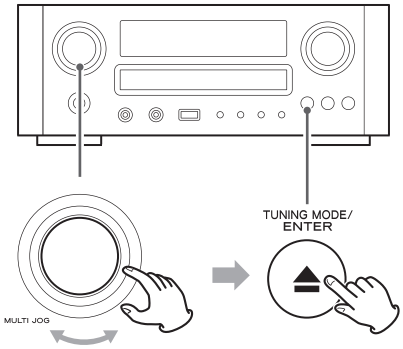
3 ソース切替ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。



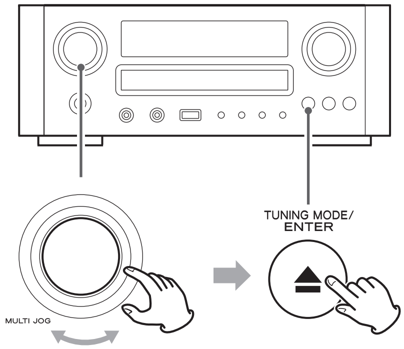
4 バンドボタン[BAND]を押して、メディアプレーヤー (Media Player)を選ぶ。



5 スクロールつまみ[MULTI JOG]を回してパソコンまたはサーバーを選ぶ。



6 スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して再生する曲を選ぶ



本機のディスプレーは半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名にかな漢字などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

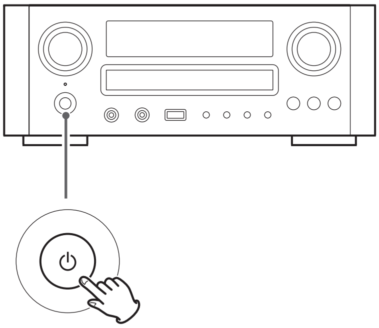
AirPlay で聴くには

本機はAirPlayに対応しています。iTunes 10以降がインストールされたパソコンや、iOS 4.2.1以降がインストールされたiPhone/iPod touch/iPadから、AirPlayを使用して曲を再生することができます。

iPhone/iPod touch/iPad から再生する場合

● この機能を使用する前に、インターネット接続に必要なセットアップを行ってください。詳しくは、「ネットワークのセットアップ」をご覧ください。 (35ページ)

1 STANDBY/ONボタン[⏻]を押して電源をオンにする。



STANDBY/ONボタンの上のインジケーターが青く点灯します。

2 iPhone/iPod touch/iPadの電源を入れる。

3 本機が接続されているネットワークに、iPhone/iPod touch/iPadを接続する。

4 iPhone/iPodTouch/iPadを起動する。

5 (AirPlay) アイコンをタップする。

使用できる機器の一覧が表示されます。

6 一覧から「CR-H700」を選ぶ。

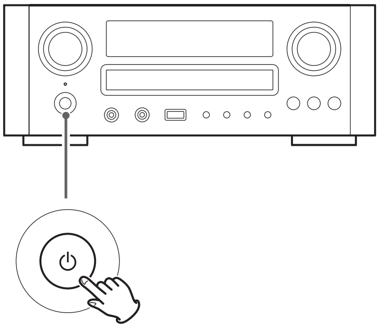
7 iPhone/iPod touch/iPadから曲を再生する。

● 本機で曲を再生するまでに5～6秒程度掛かります。
● AirPlay停止後もモードを切り替えないとAirPlay Playingと表示したままになります。
● USB端子にiPhone/iPod touch/iPadを接続した状態ではAirPlayを使用できません。

パソコンから再生する場合

● この機能を使用する前に、インターネット接続に必要なセットアップを行ってください。詳しくは、「ネットワークのセットアップ」をご覧ください。 (35ページ)

1 STANDBY/ONボタン[⏻]を押して電源をオンにする。



STANDBY/ONボタンの上のインジケーターが青く点灯します。

2 パソコンの電源を入れる。

3 本機が接続されているネットワークに、パソコンを接続する。

4 iTunesを起動する。

5 (AirPlay) アイコンをクリックする。

使用できる機器の一覧が表示されます。

6 一覧から「CR-H700」を選ぶ。

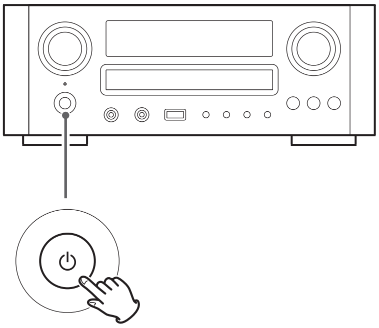
7 iTunesから曲を再生する。

Music Streaming で聴くには

お使いのネットワークに接続されているサーバーの曲を、パソコンやモバイル機器から再生することができます。

- この機能を使用する前に、インターネット接続に必要なセットアップを行ってください。詳しくは、「ネットワークのセットアップ」をご覧ください。(35ページ)
- DLNAに対応したアプリケーションがインストールされたパソコンやモバイル機器を使用してください。
- DLNAに対応したサーバーをご用意ください。

1 **STANDBY/ONボタン[⏻]を押して電源をオンにする。**



STANDBY/ONボタンの上のインジケーターが青く点灯します。

2 **パソコンまたはモバイル機器の電源を入れる。**

3 **NAS(Network Attached Storage:ネットワーク・アタッチト・ストレージ)サーバーをネットワークに接続する。**

接続のしかたについては、サーバーの取扱説明書を参照してください。

4 **パソコンまたはモバイル機器を、DLNAに対応したアプリケーションで本機とサーバーに接続する。**

5 **パソコンまたはモバイル機器から曲を再生する。**

ネットワーク設定

アクセスポイントの検索

本機の設置場所を動かしたときや、ネットワークの設定を変更したとき、またインターネットへの接続に問題があるときは、インターネット設定をしなおしてください。

以下のように項目を選びます。

Setup Menu → Network → Wireless → Search AP

- メニューを開く手順は、前のページをご覧ください。

ネットワークスタンバイ設定

ネットワークスタンバイの設定をオンにしておくと、本機がスタンバイ(電源オフ)状態のときにAirPlayまたはDLNA信号を検知すると、自動的に本機の電源がオンになり、再生が始まります。

以下のように項目を選びます。

Setup Menu → Network → Wireless→ Wired → Standby(Off)を順に選び、Onを選んでください。

- メニューを開く手順は、前のページをご覧ください。

マニュアル設定

詳細なインターネット接続の設定を確認、変更できます。

以下のように項目を選びます。

現在のネットワーク設定を確認する

Setup Menu → Information

有線LANの設定をする

Setup Menu → Network → Wiredを順に選び、DHCPとProxy Settingの設定をします。

無線LANの設定をする

Setup Menu → Network → Wirelessを順に選び、DHCP、SSID、Security、Key、およびProxy Settingの設定をします。

- メニューを開く手順は、前のページをご覧ください。

iPod Wi-Fi login sharing 機能

お使いのiPod/iPhone/iPadのWi-Fi設定を本機に転送する機能です。すでに本機のWi-Fi設定が終了している場合は、実行する必要ありません。
iOS 5.x Version 以上のiPod/iPhone/iPadでのみ使用可能です。
以下の説明ではiPodについて記載していますが、iPhone、iPadについても同様です。

1 iPodをWi-Fiに接続する。

2 本機の電源をONにする。

- LANケーブルは接続しないでください。

3 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。

「Internet Radio」または「Media Player」でWi-Fiに接続できなかった場合は、本機のディスプレーに「Network problem」と表示されます。次の手順へ進んでください。

4 本機の「SOURCE」ボタン又はリモコンの「iPod/USB」ボタンを押してiPod/USBに入力を変更する。

5 iPodに付属しているケーブルで、iPodを本機のUSB端子に接続する。

6 本機の「MENU」ボタンを長押し(約3秒)する。

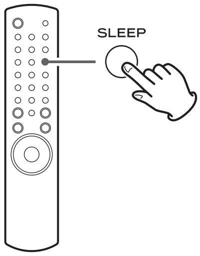
7 iPodの画面に「許可/無視」が表示されるので、「許可」を選択する。

本機ディスプレーには「Wi-Fi Sharing connecting.」と表示されます。
設定が終了すると、本機ディスプレーに「Wi-Fi Sharing Success」と表示されます。

8 「Wi-Fi Sharing Success」の表示が消えてから電源を OFF/ON する。

スリープタイマー

一定の時間が過ぎると電源をスタンバイ (オフ) にします。



スリープボタン [SLEEP] を繰り返し押します。
以下のように電源がスタンバイ (オフ) になる時間が変わります。

SLEEP 90	90 分後に スタンバイ (オフ)
↓	
SLEEP 80	80 分後に スタンバイ (オフ)
↓	
・・・・	10 分刻み
↓	
SLEEP 10	10 分後に スタンバイ (オフ)
↓	
SLEEP OFF	スリープタイマー オフ

- スリープタイマーを設定すると、ディスプレーが暗くなります。
- スリープタイマーを設定したあと、スリープボタン[SLEEP]を1回押すと、電源がスタンバイ(オフ)になるまでの残り時間が3秒間表示されます。

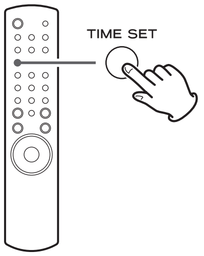
目覚ましタイマー

設定した時間になると再生が始まる「目覚ましタイマー」の設定ができます。

● 目覚ましタイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(18ページ)

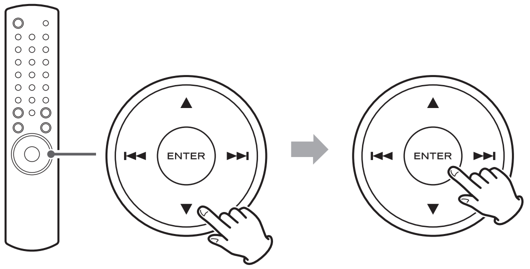
タイマー時間の設定

1 「On Time(オンになる時間)」が表示されるまで、時刻設定ボタン[TIME SET]を繰り返し押す。



「時」表示が点滅します。

2 スクロールボタン[▲/▼]を押して、「時」を合わせ、エンターボタン[ENTER]を押す。

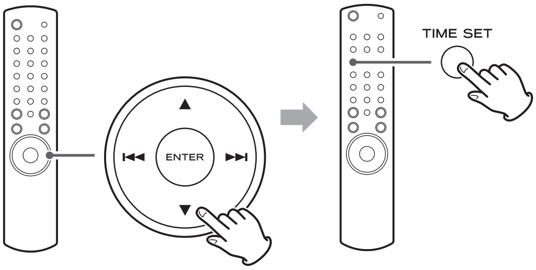


「分」表示が点滅します。

● 1分以上放置すると、タイマー設定モードは解除されます。

● タイマー設定モードをやめるには、停止ボタン[■]を押します。

3 スクロールボタン[▲/▼]を押して、「分」を合わせ、時刻設定ボタン[TIME SET]を押す。



「Off Time(オフになる時間)」が表示され、「時」表示が点滅します。

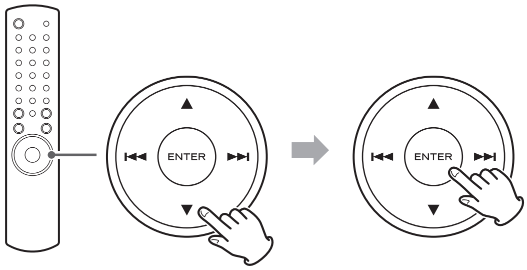
4 2 から 3 の手順を繰り返して、オフになる時間を設定する。

「Source Select(入力ソースの選択)」が表示されます。

● チューナーモードのときは「FM」のみを選ぶことができます。タイマーがオン(起動状態)になると、最後に選ばれていた放送局の音声が流れます。

● 「USB/iPod」を選ぶことはできません。

5 スクロールボタン[▲/▼]を押して、入力ソースを選び、エンターボタン[ENTER]を押す。



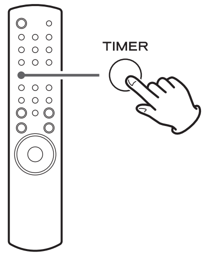
目覚ましタイマーの時間が設定されました。

このあと、タイマー設定を有効(起動状態)にする必要があります。次ページの手順で準備をしてください。

● 「Phono」は設定できません。

タイマーモード

タイマーボタン [TIMER] を押すたびに、以下のようにメニューが切り換わります。



Timer Off　目覚ましタイマーオフ
↓
Timer Daily　目覚ましタイマー(毎日)
↓
Timer Once　目覚ましタイマー(1度のみ)

目覚ましタイマー

毎日設定した時間または設定した時間に電源がオンになり、再生を始めます。設定した終了時間になると、電源がオフ (スタンバイ) になります。

1 開始時刻/終了時刻を設定する。(48ページ「タイマー時間の設定」)

2 タイマーボタン[TIMER]を押して、「Timer Daily (毎日)」または「Timer Once (1度のみ)」を選ぶ。(49ページ)

が表示されます。

3 再生ソースを準備する。

目覚ましタイマーをセットする前に、外部入力モード(「AUX 1」または「AUX 2」)のときは機器を接続し、チューナーモードのときは、放送局(FMのみ)を選んでください。

また、音量を調節してください。

● 「Phono」は再生できません。

4 STANDBY/ONボタンを押して電源をオフ(スタンバイ)にする。

目覚ましタイマーの設定が終了しました。

タイマーをオフにするには

目覚ましタイマー機能を使いたくないときは、タイマーボタン [TIMER] を押して、「Timer Off(目覚ましタイマーオフ)」を選びます。

ディスプレーに表示されていたインジケーター ( ) が消えます。

ファームウェアアップデート

本機のファームウェア（機器内部に組み込まれた本機を制御するためのプログラム）は、LAN またはインターネット経由で最新のファームウェアを入手することで最新のバージョンに更新することが可能です。
最新のファームウェアは、機能の追加や安定性の向上を図るための改善が行われることがありますので、是非最新のファームウェアにて本機をご活用ください。

LAN でアップデートする

最新ファームウェアは、ティアックホームページのCR-H700 製品ページで公開しいます。
（尚、ファームウェアが掲載されていない場合は、ファームウェアの更新はありません。）

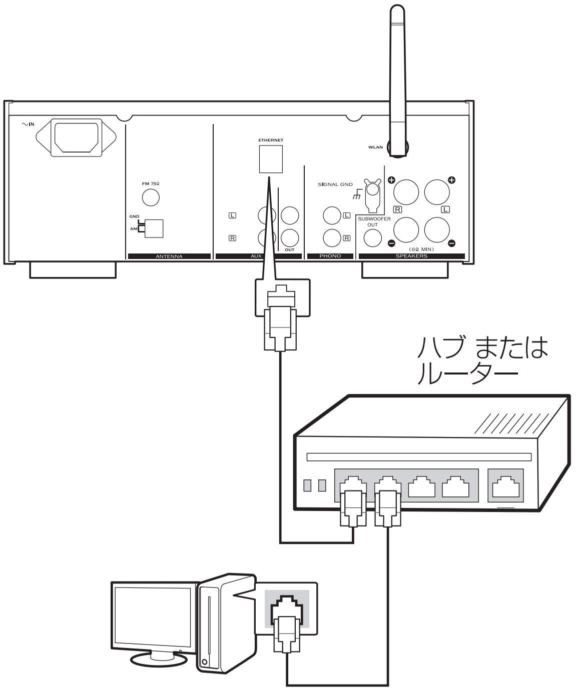
http://www.teac.co.jp/

ティアックホームページより、右上「サイト内検索」にて、「CR-H700」と打ち込んでいただくことで製品ページが簡単に検索できます。

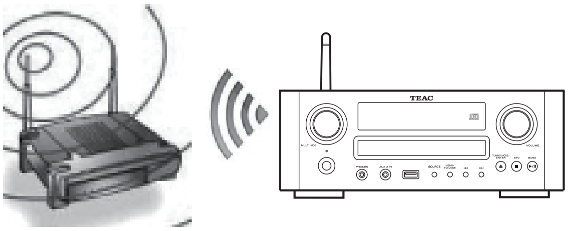
ファームウェアを入手してから、以下の操作を行ってください。

1 本機を無線または有線でファームウェアをダウンロードしたパソコン (以下PC) が接続されているネットワークに接続する。

詳細は、取扱説明書の16ページの「接　続」46ページの「ネットワーク設定」を参照してください。



または



2 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。

3 本機の「BAND」ボタンまたはリモコンの「TUNER」ボタンで「Internet Radio」または「Media Player」を選択する。

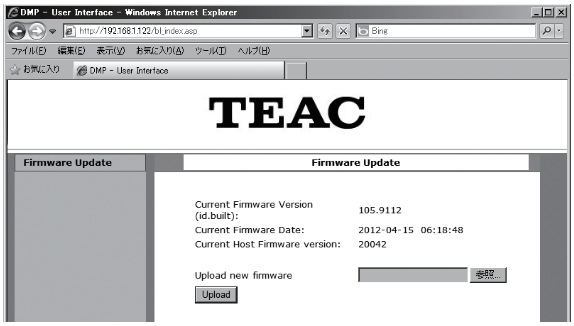
4 メニューボタンを押して、以下の順番でメニューを選択する。

Software Update ➡ Webpage

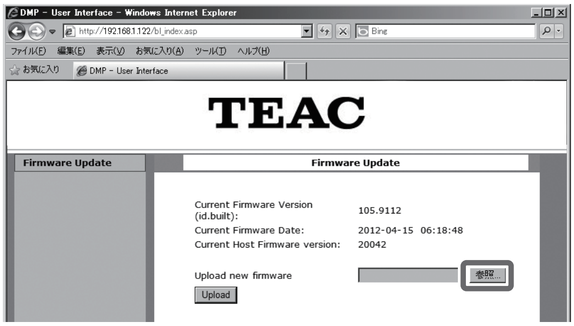
● メニュー選択後、自動で再起動します。再起動後、本機のディスプレーに本機の IP アドレスが表示されます。

5 PCでWebブラウザを起動し、本機のIPアドレスを入力する。

● ここでは一例として Windows XP の Internet Exploler 8 を使用した場合について説明します。

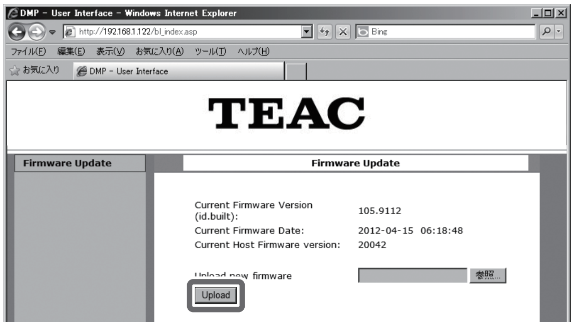


6 「参照」ボタンをクリックしてファームウェアのファイル(.fw)を選択する。

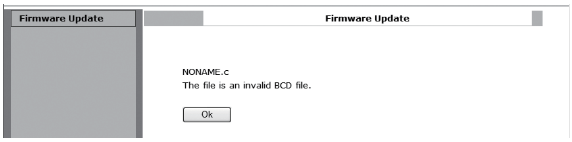


ティアックのホームページからダウンロードしたファイルをセーブしたディレクトリーを選択し、該当するファームウェアを選択して下さい。

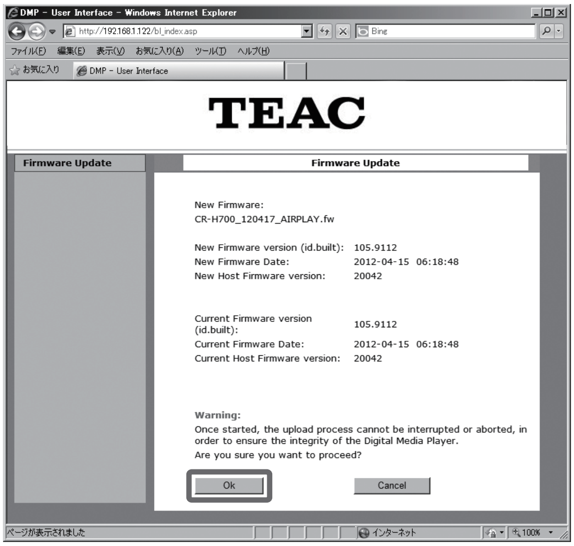
7 「Upload」ボタンをクリックする。



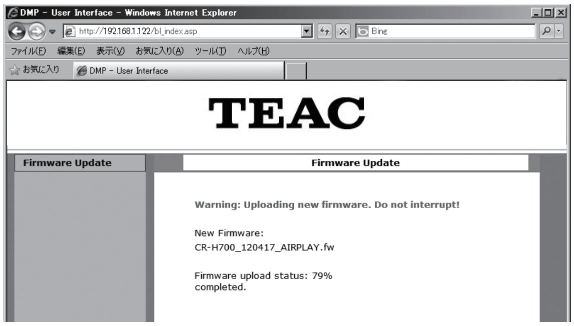
以下の画面が表示された場合、「OK」ボタンを押して**5** からやり直してください。やり直すときにはファイルやファイル名を確認してください。



8 「OK」ボタンをクリックしてファームウェアのアップデートを開始する。



アップデートが開始されると以下の画面が表示されます。



- 本機のディスプレーにもファームウェアのアップデート状況が表示されます。

次のページに続きます

ファームウェアの更新（続き）

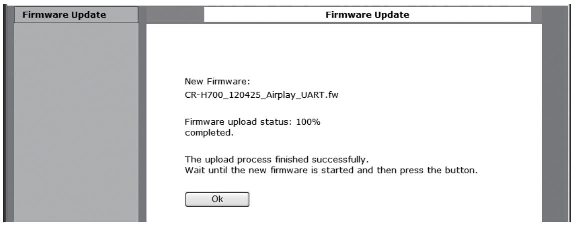
注意

アップデート中に以下の画面が表示されても、本機はファームウェアのアップデートを行っています。そのままお待ちください。

警告

アップデート中は本機の電源およびWi-Fi通信に必要な機器の電源を切らないでください。
アップデート中に本機の電源およびWi-Fi通信に必要な機器の電源を切ると故障の原因となります。

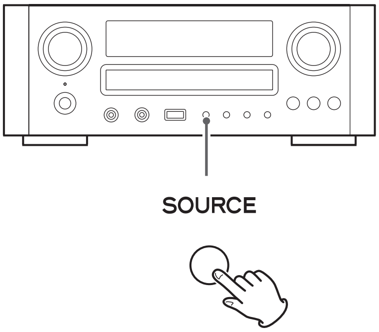
- 以下の画面が表示された場合、「OK」ボタンを押さないでください。もし間違って、本機が自動で再起動する前に「OK」ボタンを押すとWebページが表示されなくなります。



- ファームウェアの更新が終了すると本機は自動で再起動し、ディスプレーの画面が通常表示になります。

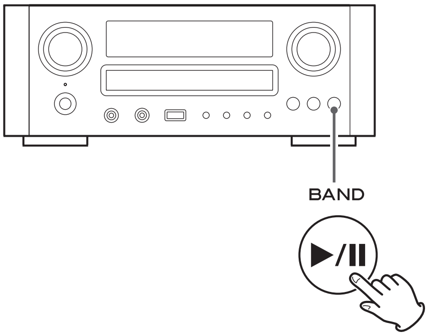
インターネットでアップデートする

1 入力切換ボタン[SOURCE]を押して、チューナーモードを選ぶ。



- リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

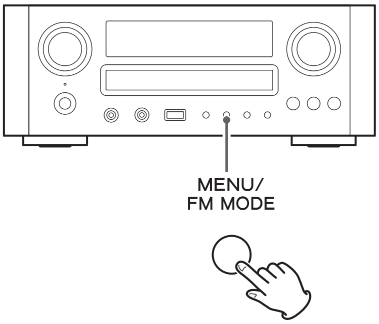
2 バンドボタン[BAND]を押してインターネットラジオ(Internet Radio)を選ぶ。



バンドボタン[BAND]を押すたびに、AM/FM/インターネットラジオ/メディアプレーヤーが切り換わります。

- リモコンのチューナーボタン[TUNER]も使えます。

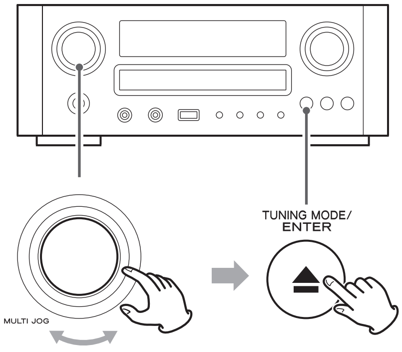
3 メニューボタン[MENU]を押して、セットアップメニュー (Setup Menu)を開く。



工場出荷状態に戻すには

4「Setup Menu」➡
「Software Update」を選ぶ。

スクロールつまみ[MULTI JOG]を回して項目を選び、エンターボタン[ENTER]を押して確定します。
Device Name Edit → Net work → Information → Software UpdateGateway → Device Name Editに戻る




```
 Setup Menu
›Software Update
```

アップデートが可能な場合、自動的に最新ソフトウェアのダウンロードを開始し、インストールします。

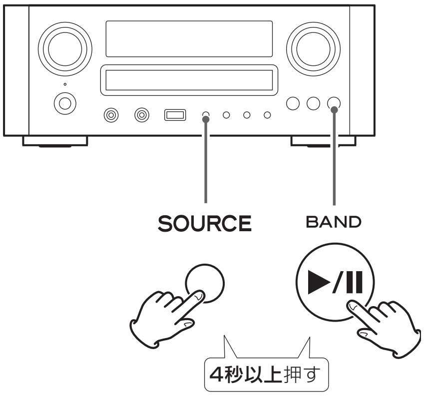
[MULTI JOG]を回して[▶USB → ▶Internet]選び、エンターボタン[ENTER]を押すと、ソフトウェアのダウンロードがスタートします。

● 以下のメニューで現在のソフトウェアのバージョンを確認できます。

Setup Menu → Infomation → Firmware Version

本機が正常に動作しない場合、工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって、正常な状態に戻ることがあります。

電源オフ (スタンバイ) のとき、本体の入力切替ボタン [SOURCE] と再生 / 一時停止ボタン [▶/II] を 4 秒以上押し続けます。



電源がオンになり、全ての設定は初期設定に戻ります。

● コンセントから電源コードが2週間以上抜かれた状態のままでいると、内蔵メモリーに記憶された設定内容(タイマー設定やプリセット設定など)が消去されます。

● 設定を記憶する内蔵メモリーの充電は3日程度かかります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

一般

電源が入らない

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

音が出ない

➡ ソース切換ボタン[SOURCE]を押して、入力ソースを選んでください。

➡ 音量を調節してください。

リモコンで操作できない

➡ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。

➡ リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。

➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

雑音がする。

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

CDプレーヤー

再生できない

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。

➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。

➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。

➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは本機で再生できません。

音飛びする

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。

➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

➡ 傷が付いたり、ヒビが入っているディスクは使わないでください。

音楽ファイル

再生できない

➡ ファイルのフォーマットを確認してください。再生可能ファイルは9ページをご覧ください。

曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない

➡ ファイルにID3タグが入っていません。パソコンなどでID3タグを編集したMP3/WMAファイルを作成し直してください。

正しく表示されない文字がある

➡ 本機のディスプレーは半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名にかな漢字などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

iPod

再生できない

- ➡ iPodをいったんUSBポートから外し、数秒経ってからもう一度接続してみてください。
- ➡ 最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
下記サイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。
http://www.apple.com/jp/downloads/

iPodの操作ができない

- ➡ iPodのホールドスイッチを解除してください。
- ➡ iPod側で音量の調節はできません。
- ➡ 表示モードが拡張モードになっていると、iPod側で操作できません。

AM/FMラジオ

受信できない。受信状態が悪い

- ➡ 放送局を選局してください。
- ➡ 本体の近くにテレビがある場合は、テレビの電源を切ってください。
- ➡ アンテナと本体の位置や向きを変えてみてください。
- ➡ 電波状態が改善しない場合は、屋外アンテナを使用してください

ステレオ放送がモノラルで受信される

- ➡ FMモードボタン[FM MODE]を押してステレオ受信に切り換えてください。

ネットワーク

インターネットに接続できない

- ➡ 同じLANに接続しているパソコンが、インターネットに接続できるか確認してください。
- ➡ ネットワーク接続のパスワードが間違っていないか確認してください。
- ➡ ネットワークのファイヤーウォールの設定を確認してください。少なくとも以下のUDPとTCPポートへのアクセスが必要です。
80、554、1755、5000、7070

インターネット放送局/ポッドキャストが再生できない

- ➡ 発信者側で、インターネット接続の一時的な不具合が発生していることがあります。
- ➡ インターネットに正しく接続されているか確認してください。

Station list(放送局/ポッドキャストリスト)で聴きたい放送局/ポッドキャストが見つからない

- ➡ パソコンのWebブラウザで、ラジオポータルサイトにアクセスして、放送局/ポッドキャストをリストに追加してください。(39ページ)
- ➡ 放送局/ポッドキャストが現在は配信されていないかもしれません。
- ➡ 放送局/ポッドキャストへのアドレスが変更されたかもしれません。
- ➡ 放送局/ポッドキャストの登録者が規定の数に達しているため、すでに公開されていないかもしれません。
- ➡ インターネット接続速度が遅すぎると、サーチに時間がかかることがあります。

AirPlay

再生できない

- ➡ AirPlayの再生機器として本機が選ばれているか確認してください。

Music Streamig

再生できない

- ➡ Music Streamigの再生機器として本機が選ばれているか確認してください。

メディアプレーヤー

ネットワークに接続できない

- ネットワークのファイヤーウォールの設定を確認してください。少なくとも以下のUDPとTCPポートへのアクセスが必要です。
  80、554、1755、5000、7070
- 同じLANに接続しているパソコンが、インターネットに接続できるか確認してください。
- ネットワーク接続のパスワードが間違っていないか確認してください。
- パソコンがシャットダウン/スリープ状態になっていないか確認してください。パソコンが自動的にシャットダウン/スリープ状態にならないように設定をしてください。
- ネットワーク認証に問題があると考えられます。入力切り替えボタン[SOURCE]またはバンドボタン[BAND]を押して、メディアプレーヤー (Media Player)を再度選んでください。

曲が見つからない(メディア共有)

- Windows Media Playerのライブラリに曲を追加してください。
- Windowsのデバイス一覧で本機を選んでください。
- ファイル形式を確認してください。メディアプレーヤーで再生できるファイル形式は、MP3またはWMAです。
- アンチウィルスソフトやセキュリティソフトを使用している場合は、本機がパソコンに接続できない場合があります。

フォルダ/ファイルが見つからない(フォルダ共有)

- フォルダ/ファイル共有の設定をしてください。(42ページから43ページ)
- 共有フォルダにファイルを追加してください。
- ユーザーアカウントのパスワードが間違っていないか確認してください。
- ファイル形式を確認してください。メディアプレーヤーで再生できるファイル形式は、MP3またはWMAです。
- アンチウィルスソフトやセキュリティソフトを使用している場合は、本機がパソコンに接続できない場合があります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

以上の操作をしても正常な動作にならない場合は、53ページの「工場出荷状態に戻すには」の手順で、初期設定状態に戻して再度操作してください。

仕　様

アンプ

定格出力......... 40W + 40W (6Ω、0.5%、1kHz)
入力感度................... Phono: 2.5mV/47kΩ
AUX1、AUX2: 200mV/47kΩ
周波数特性 .... 20Hz 〜 60kHz(+1/-3dB)
サブウーハー出力 .... 10Hz 〜 35Hz

AMチューナー

受信周波数 ....522kHz 〜 1,629kHz
S/N比 35dB

FMチューナー

受信周波数 .... 76.0MHz 〜 90.0MHz
S/N比 ....65dB(Mono)
60dB(Stereo)

USB
再生

フォーマット LPCM,WAV,FLAC,MP3,WMA,AAC
周波数特性 ....20Hz 〜 20kHz(±2dB)
S/N比 85dB以上
フロントUSBポートの供給電流 2100mA

インターネットラジオ

フォーマット . WAV,FLAC,ALAC,MP3,OGG,WMA,AAC

インターネット接続

LANターミナル 10/100BASE-T
無線LAN規格
IEEE 802.11b 準拠 (変調方式：DSSS)
IEEE 802.11g 準拠 (変調方式：OFDM)
周波数帯域
2,412MHz 〜 2,472MHz (5MHzステップ)
CH数.......................................13CH
セキュリティ ....WEP, WPA-PSK, WPA2-PSK

一般

電源 ....AC 100V、50-60Hz
消費電力................................. 120W
待機電力......................0.5W(スタンバイ時)
外形寸法(幅、高さ、奥行)......290 x 113 x 340mm
質量 5.8kg

付属品

リモコン(RC-1286)×1
リモコン用乾電池(単4)×2
電源コード×1
AMループアンテナ×1
FMアンテナ×1
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

54 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他： 製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ネットワークCDレシーバー
CR-H700
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

オープンソースに関する著作権およびライセンス

"FLAC Decoder
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE."

"Ogg/Vorbis Decoder
Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ALAC
This product incorporates the software licensed under Apache license.
Copyright (c) 2011 Apple Inc. All rights reserved.

Apache License
Version 2.0, January 2004
http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.
You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.
5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.
Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS
APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.
To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

オープンソースに関する著作権およびライセンス（続き）

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-000-701**
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-000-501**
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0912 MA-1754B